

有人国境離島地域における施策の 効果等実態調査

航路・航空路の割引制度と買いものに関する
アンケート調査報告書

平成31年3月

島 根 県

目次

I	調査の概要.....	1
II	調査の結果	
	航路・航空路の割引制度に関する調査結果	
	1 有人国境離島法に基づく島民割引運賃制度	
	(1) 平成 29 年 4 月に施行された「有人国境離島法」の認知度.....	2
	(2) 隠岐－本土間の航路・航空路島民割引運賃の認知度.....	3
	(3) 隠岐－本土間の航路・航空路島民割引運賃の利用状況.....	3
	(4) 隠岐－本土間の航路・航空路の「島民割引運賃制度」の満足度.....	4
	2 島民割引運賃制度（平成 29 年 4 月以降）導入後の利用状況	
	(1) 利用頻度.....	5
	(2) 利用目的.....	6
	(3) 目的地.....	7
	(4) 交通手段別の変化.....	9
	(5) 利用頻度の変化と利用目的.....	11
	(6) 「買い物」目的で利用頻度が増加した人の傾向.....	12
	3 島民割引運賃制度（平成 29 年 4 月以降）による家計への影響	
	(1) 運賃の負担軽減で生まれた余裕の使いみち.....	13
	(2) 割引運賃継続による世帯の今後の利用予想.....	13
	4 自由意見（隠岐地区で生活していく上で必要なこと）.....	14
	買い物に関する調査結果	
	1 買いもの先.....	15
	2 日常生活の行き先.....	19
	3 自由意見（隠岐地区で生活していく上で必要なこと）.....	20
	回答者の属性	
	<航路・航空路の割引制度に関する調査>.....	21
	<買い物に関する調査>.....	22
	アンケート調査票.....	23

I 調査の概要

1. 調査目的

平成29年に「有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法（以下「有人国境離島法」という。）」が施行されて以降、本土から遠隔の地に位置し、かつ、人口が著しく減少している特定有人国境離島地域の地域社会の維持を図るため、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金が創設され、航路・航空路運賃低廉化事業を始めとした総合的な支援が行われている。

島根県においても、「島根県特定有人国境離島地域の地域社会の維持に関する計画（以下「県計画」という。）」を策定し、県計画に基づく施策を展開しているが、効果的な施策推進等を図るためには、施策の進捗や効果、隠岐諸島の地域社会の維持の支障となっている課題等を把握・分析することが重要である。

本調査で得たデータは、隠岐諸島の地域社会の維持に必要な施策を隠岐4町村、関係機関とともに検討していくための基礎資料とする。

2. 調査概要

- (1) 対象者抽出 隠岐地区4町村の選挙人名簿から無作為抽出
対象世帯数 3,250 世帯（各町村は人口比により抽出）
- (2) 調査期間 平成30年6月29日～7月15日
- (3) 配布・回収方法 郵送による配布・回収
2種類の調査票（航路・航空路、買いもの）を同封し対象世帯宛に郵送
世帯の中で「島外に出かけることが多い方」「普段、主に買いものをされる方」がそれぞれ回答
- (4) 分析手法 アンケート調査結果を単純集計及びクロス集計により分析
自由意見は共起ネットワーク分析(P.14、P.20 参照)により分析
買いもの先は島根県商工会連合会が実施している商勢圏実態調査との比較により分析
- (5) 調査受託機関 株式会社アテナ

3. 回収結果

	隠岐の島町	西ノ島町	海士町	知夫村	全体
配布数	2,283	449	366	102	3,250
回収数	1,429	324	241	73	2,067
回収率	62.6%	64.9%	65.8%	71.6%	63.6%

※隠岐地区全体の9,137世帯(H27国勢調査)のうち、約1/3の3,250世帯に配布

※回収数の2,067世帯が隠岐地区全体の9,137世帯に占める割合は22.6%

II 調査の結果



航路・航空路の割引制度に関する調査結果

～ 世帯の中で「島外へ出かけることが多い方」への調査 ～

1 有人国境離島法に基づく島民割引運賃制度

<考察>

- 「有人国境離島法」について、法律の認知度は79.3%、法律の内容まで知っているのは24.6%、この法律による「島民割引運賃制度」の認知度は93.7%、割引制度が法律によるものであると知っているのは72.8%となっており、世帯の中で島外へ出かけることが多い方が回答している影響もあるが、法律、割引制度、共に認知度は高い。
- アンケート回答者（世帯の中で島外へ出かけることが多い方）の割引運賃制度利用経験は84.2%、このうち制度について「満足している」は57.0%と高いが、「不満」と感じている人も9.3%存在する。
- 満足の理由は経済的負担が軽減され本土へ行きやすくなったことに起因している。
- 不満の理由は主に3つ、利用が限定されていること（帰省する親族や観光客、車輦、航空路の大阪便は対象外）、島外へお金と人が流出するばかりで地域振興・産業振興に繋がらないこと、料金がまだ高いことで、料金については満足の理由にも「これまでが高すぎる」といった意見があるなど元々の設定に割高感があることが伺える。
- 今後も運賃低廉化の継続を望む声が多く、その場合、証明書提示の簡略化、島前からの航空路への乗り継ぎ利便性向上、航空路の席の確保が困難な状況の解消についても検討の必要が伺える。

(1) 平成29年4月に施行された「有人国境離島法」の認知度

● 法律の認知度は79.3%と高く、「内容まで知っている」が24.6%

認知度 79.3%

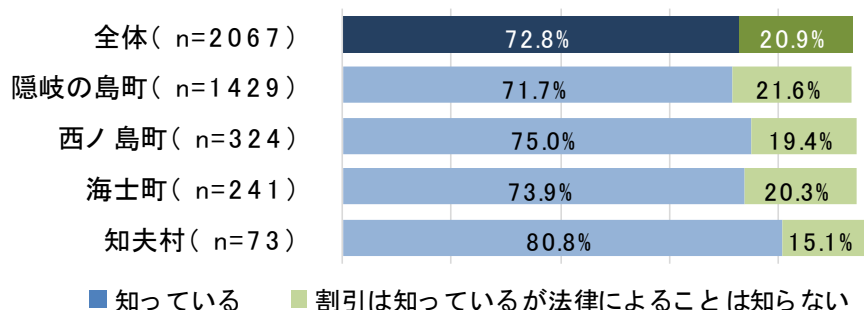
■ 法律認知	隠岐の島町	西ノ島町	海士町	知夫村	全体
内容まで知っている	347(24.3%)	77(23.8%)	64(26.6%)	20(27.4%)	508(24.6%)
内容は知らない	786(55%)	180(55.6%)	121(50.2%)	43(58.9%)	1130(54.7%)
知らない	208(14.6%)	54(16.7%)	39(16.2%)	7(9.6%)	308(14.9%)
無回答・不明	88(6.2%)	13(4%)	17(7.1%)	3(4.1%)	121(5.9%)
合計	1429(100%)	324(100%)	241(100%)	73(100%)	2067(100%)

(2) 隠岐一本土間の航路・航空路島民割引運賃の認知度

●制度の認知度は93.7%と高く、法律によるものとの理解も72.8%と高い。

認知度 93.7%

■制度認知	隠岐の島町	西ノ島町	海士町	知夫村	全体
知っている	1024(71.7%)	243(75%)	178(73.9%)	59(80.8%)	1504(72.8%)
割引は知っているが、法律によることは知らない	309(21.6%)	63(19.4%)	49(20.3%)	11(15.1%)	432(20.9%)
知らない	14(1%)	7(2.2%)	2(0.8%)	0(0%)	23(1.1%)
無回答・不明	82(5.7%)	11(3.4%)	12(5%)	3(4.1%)	108(5.2%)
合計	1429(100%)	324(100%)	241(100%)	73(100%)	2067(100%)

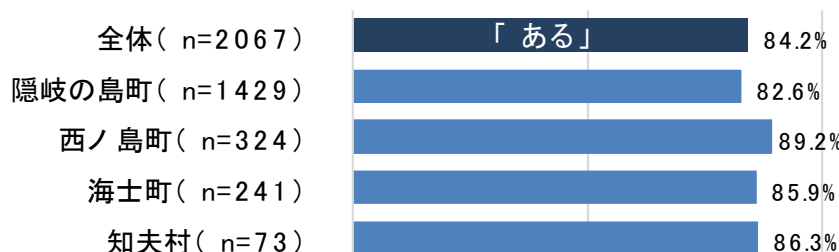


(3) 隠岐一本土間の航路・航空路島民割引運賃の利用状況

●回答者は「世帯の中で島外へ出かけることが多い方」であるが、利用経験は84.2%と高い。

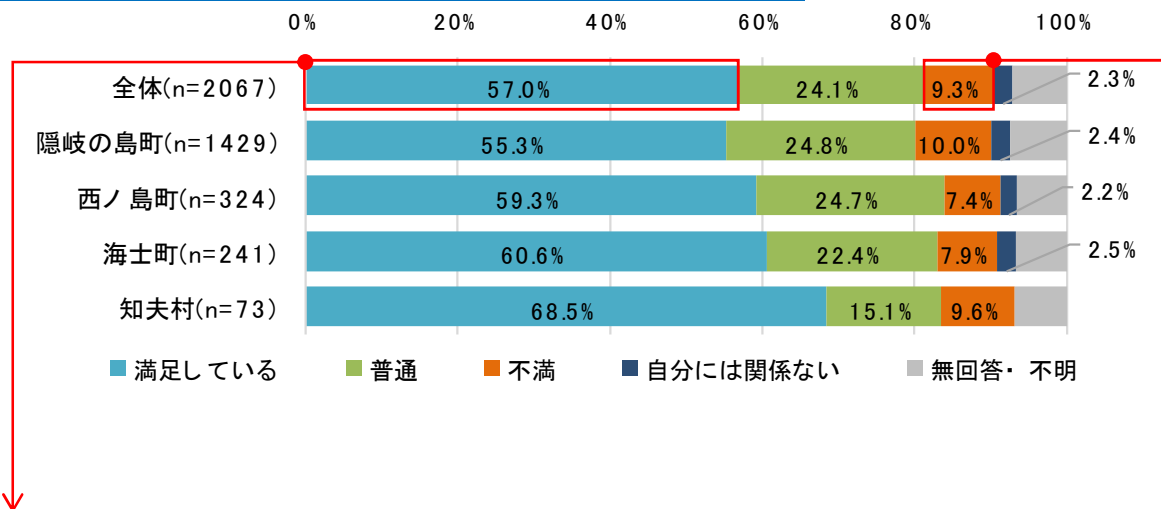
利用経験 84.2%

■制度利用	隠岐の島町	西ノ島町	海士町	知夫村	全体
ある	1181(82.6%)	289(89.2%)	207(85.9%)	63(86.3%)	1740(84.2%)
ない	165(11.5%)	23(7.1%)	23(9.5%)	6(8.2%)	217(10.5%)
無回答・不明	83(5.8%)	12(3.7%)	11(4.6%)	4(5.5%)	110(5.3%)
合計	1429(100%)	324(100%)	241(100%)	73(100%)	2067(100%)



(4) 隠岐ー本土間の航路・航空路の「島民割引運賃制度」の満足度

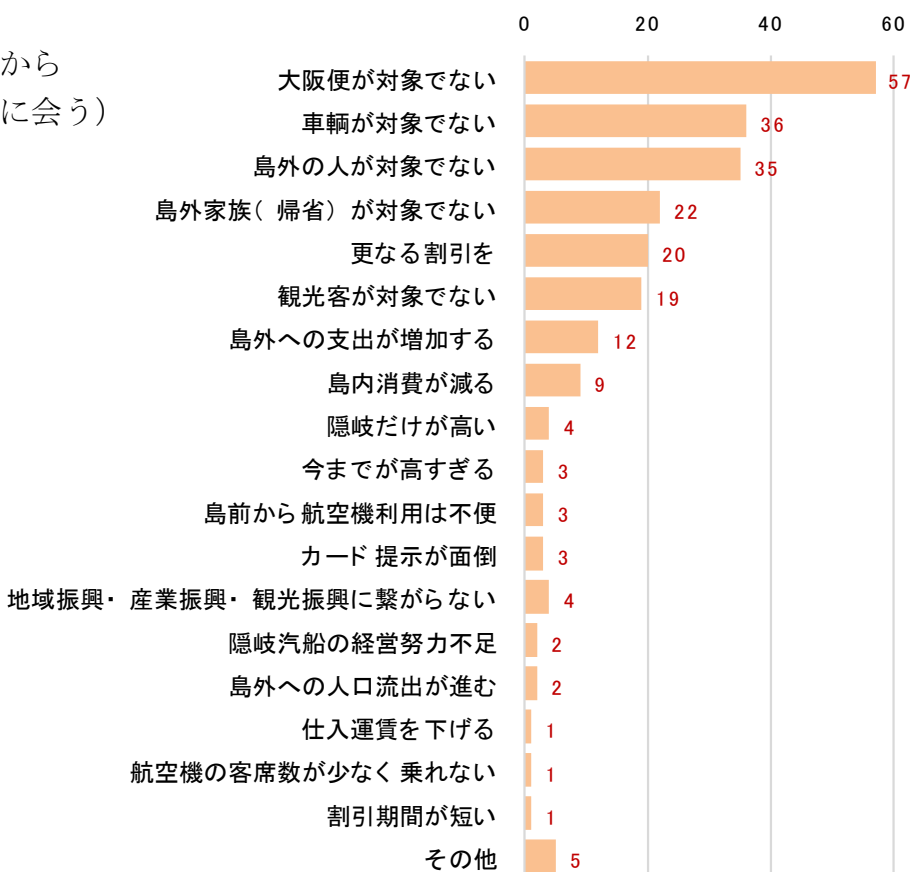
●満足度は57.0%と高く、特に知夫村は68.5%と最も高い。



「満足している」主な理由

- ・今までの高すぎるから
- ・経済的負担が軽減されるから
- ・利用しやすくなったから
- ・本土へ行きやすくなったから
(通院、買い物、家族に会う)

「不満」理由



<意見概要>

- ・対象が限定されている
- ・島外へお金と人が流出
- ・地域振興に繋がらない
- ・航空路
 - 大阪便が対象外
 - 島前からの乗継が不便
 - 残席が少なく不便
- ・期間が短い
- ・料金がまだ高い
- ・証明書提示が面倒

2 島民割引運賃制度（平成 29 年 4 月以降）導入後の利用状況

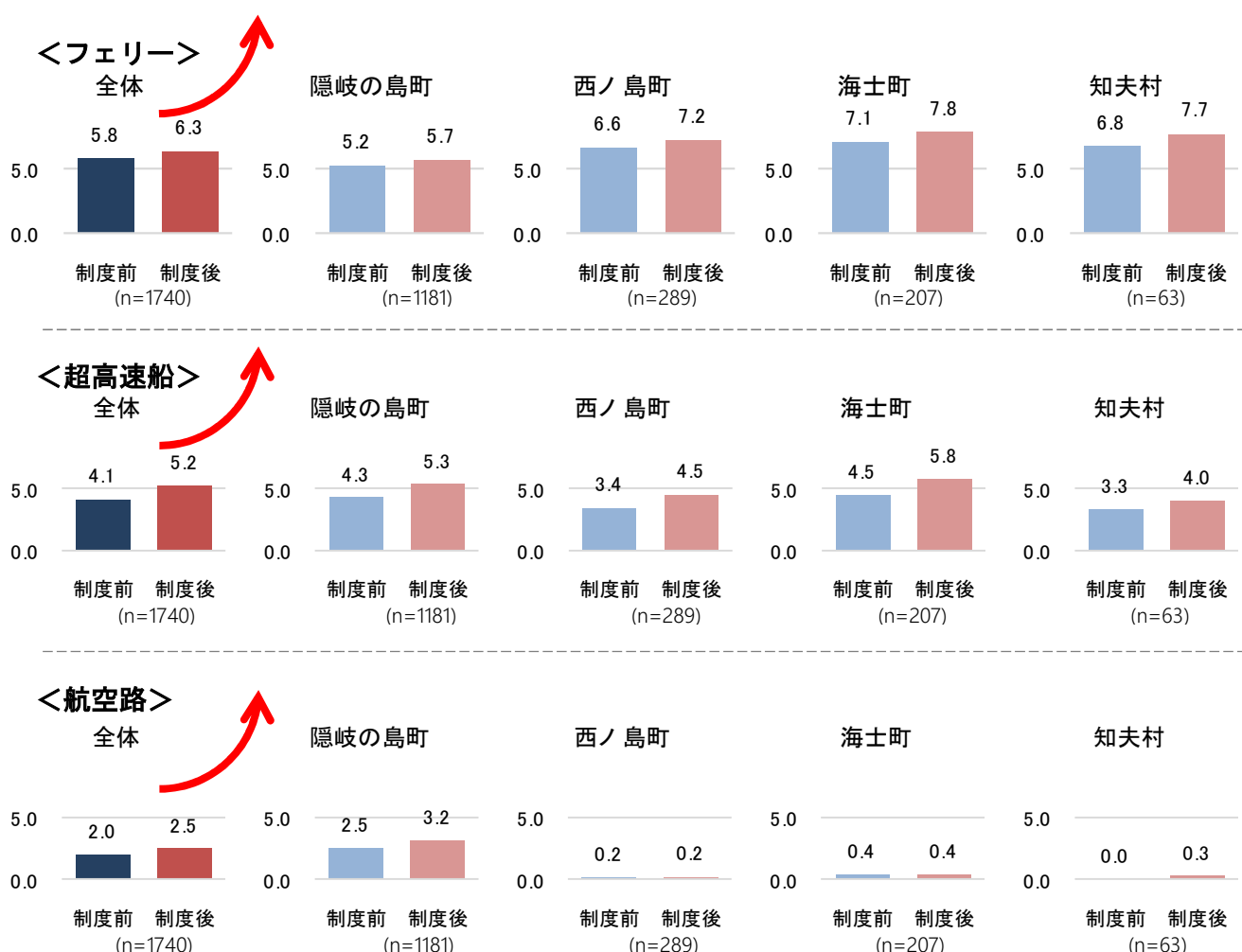
<考察>

- いずれの交通手段でも利用回数は増加し、フェリーが 5.8 回/年⇒6.3 回/年、超高速船が 4.1 回/年⇒5.2 回/年、航空路の 2.0 回/年⇒2.5 回/年と、平均すると年間の利用が 1 回増えるか否かといった結果となった。（航空路利用は元々島前からの利用はほとんどみられない）
- 運賃低廉化前後で「利用目的」と「目的地」に変化はみられないが、制度の前後共によく訪れている目的地は、フェリーと超高速船の目的地が松江、航空路が関西、松江、出雲が多くなっている。
- 運賃低廉化により、フェリーから低廉化前のフェリーと同程度の値段で乗船できる超高速船に転換するなど「時間の短縮」「快適さ」を求める傾向も見られ、特に通院では、体への負担が少ない交通手段への転換がみられる。

(1) 利用頻度

● フェリー、超高速船、航空路、何れも平均利用回数は増加

● 航空路は島前からの利用はほとんどみられない。

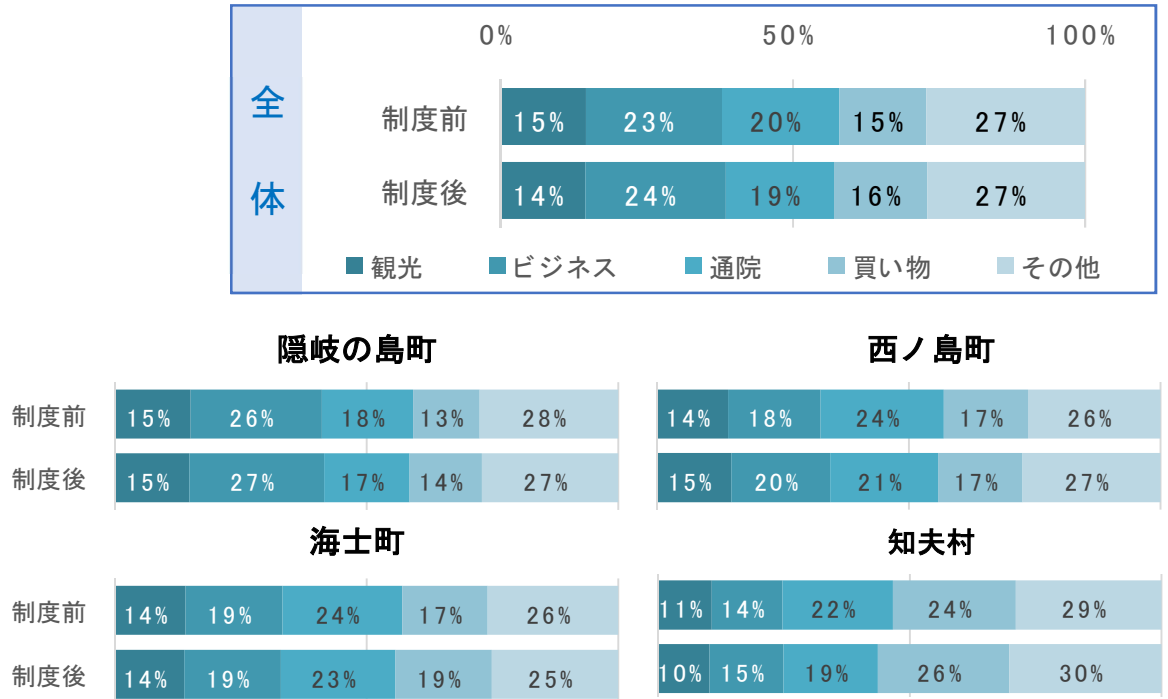


(2) 利用目的

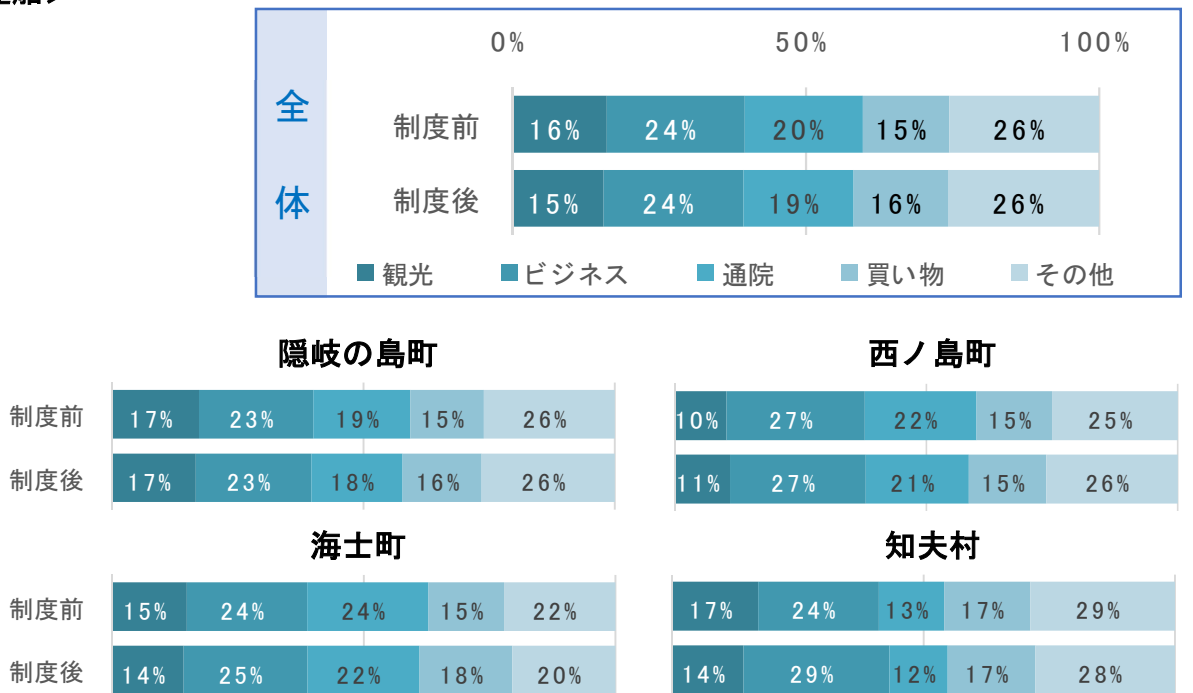
●フェリー、超高速船、航空路、何れも利用目的に変化はみられない。

※利用目的を多い順に選択肢から1位から3位まで選び、1位を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとして利用目的毎に合計し、総ポイントに対する利用目的の割合を表示

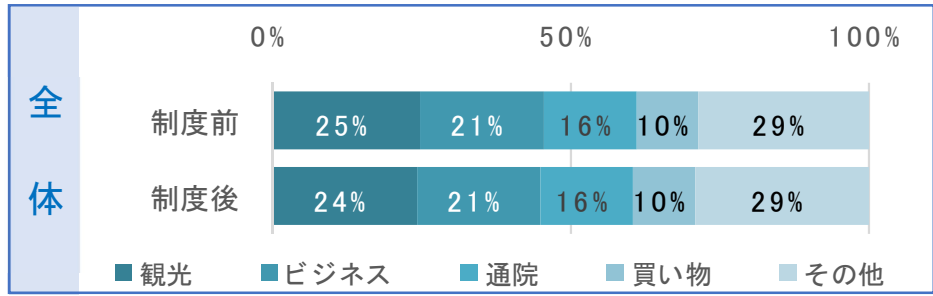
<フェリー>



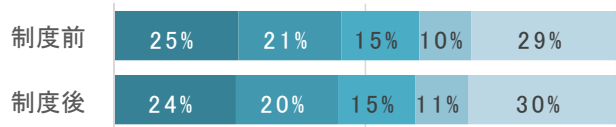
<超高速船>



＜航空路＞



隠岐の島町



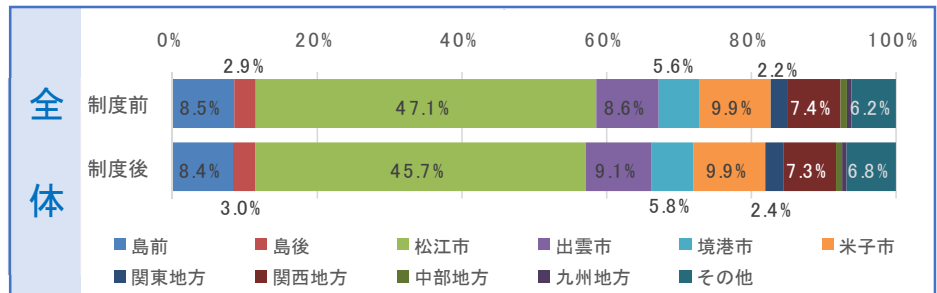
(3) 目的地

●フェリーと超高速船の約半数は目的地が松江市

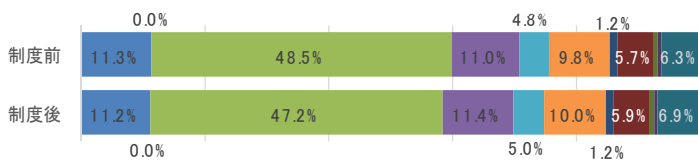
●航空路は3割が関西、松江と出雲がそれぞれ2割

※目的地を多い順に選択肢から1位から3位まで選び、1位を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとして目的地毎に合計し、総ポイントに対する目的地の割合を表示

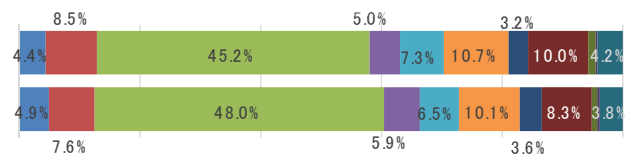
＜フェリー＞



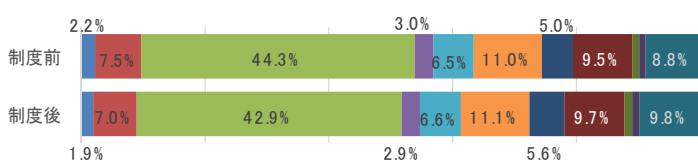
隠岐の島町



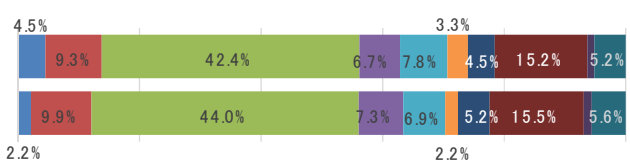
西ノ島町



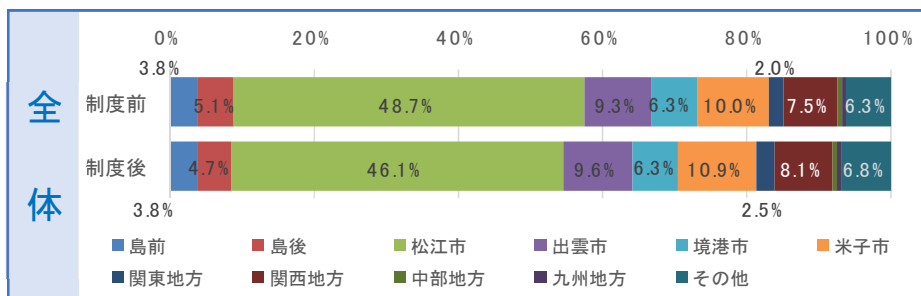
海士町



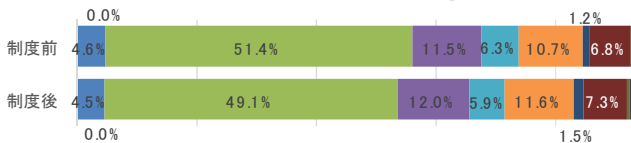
知夫村



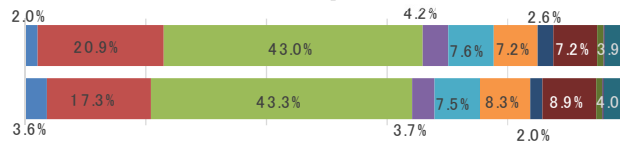
<超高速船>



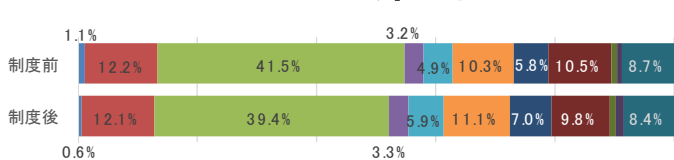
隠岐の島町



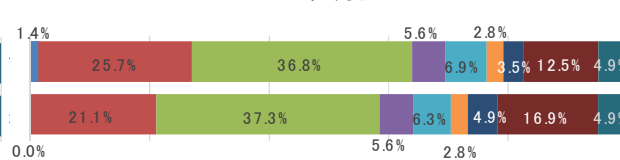
西ノ島町



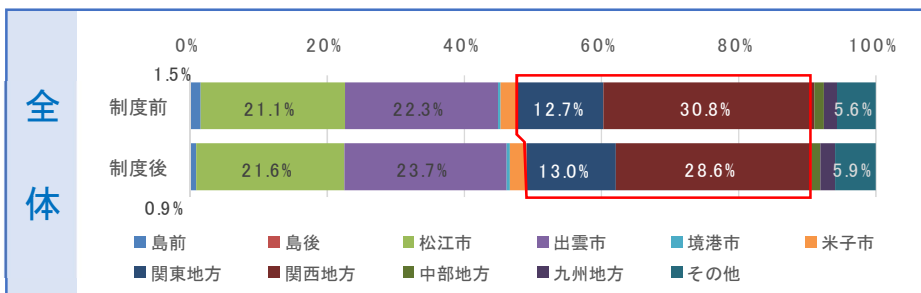
海士町



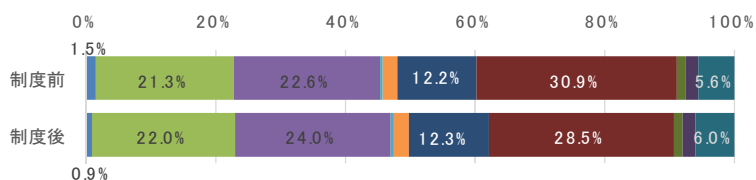
知夫村



<航空路>



隠岐の島町

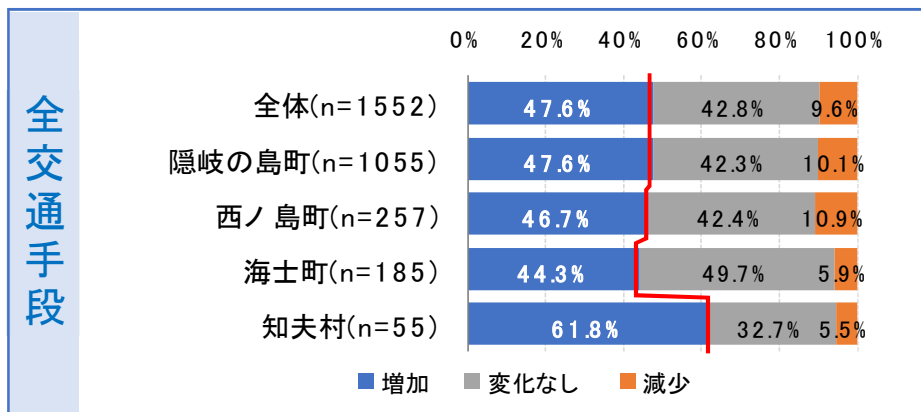


(4) 交通手段別の変化

●島外へ出る機会が増加したのは約半数、知夫村は61.8%と他と比べて高い。

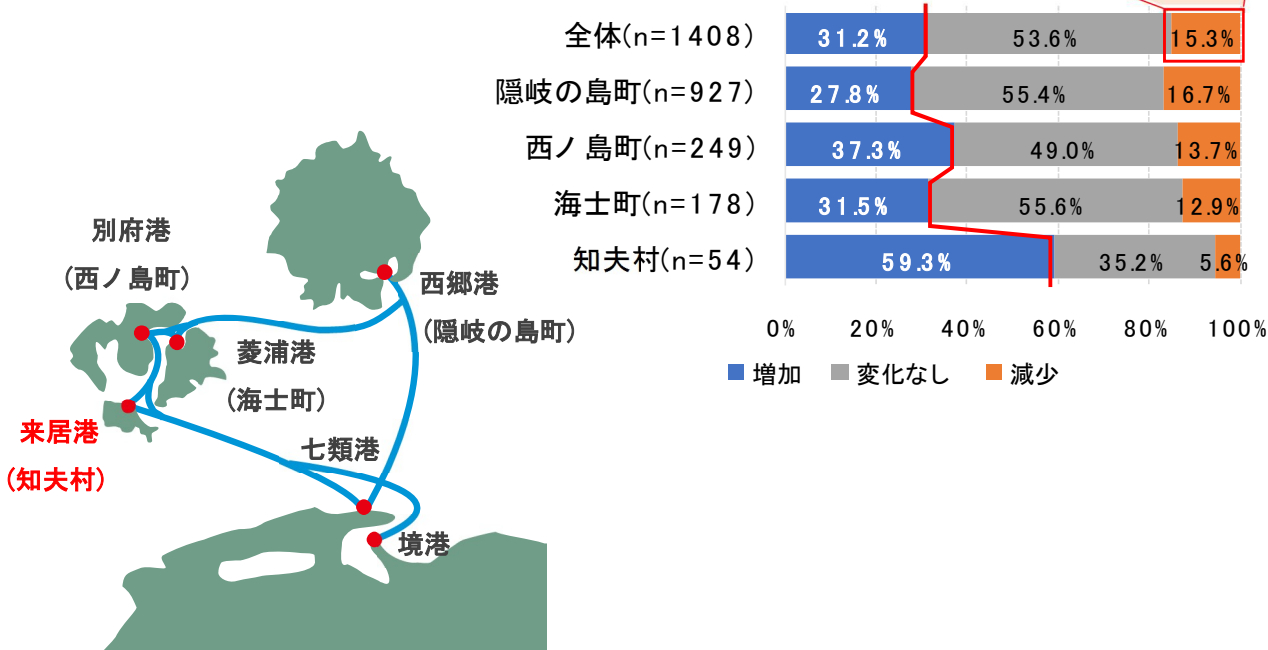
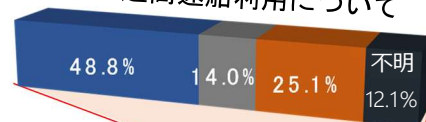
●フェリーは「減少」した割合が他と比べて高く、「減少」の15.3%を超高速船の利用頻度で見ると、「増加」が48.8%となり、フェリーから超高速船への転換がみられる。

<島外へ出る頻度（フェリー・超高速船・航空路の利用回数の合計値）の変化>

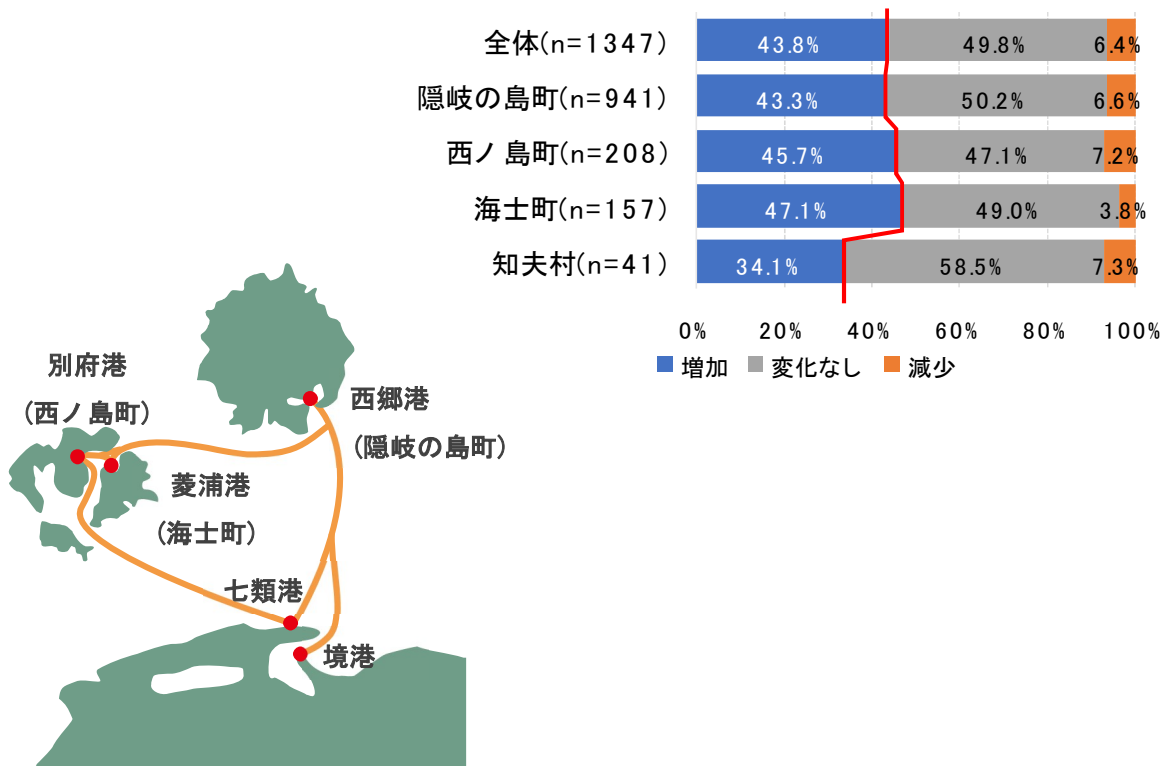


<フェリー> 利用の変化

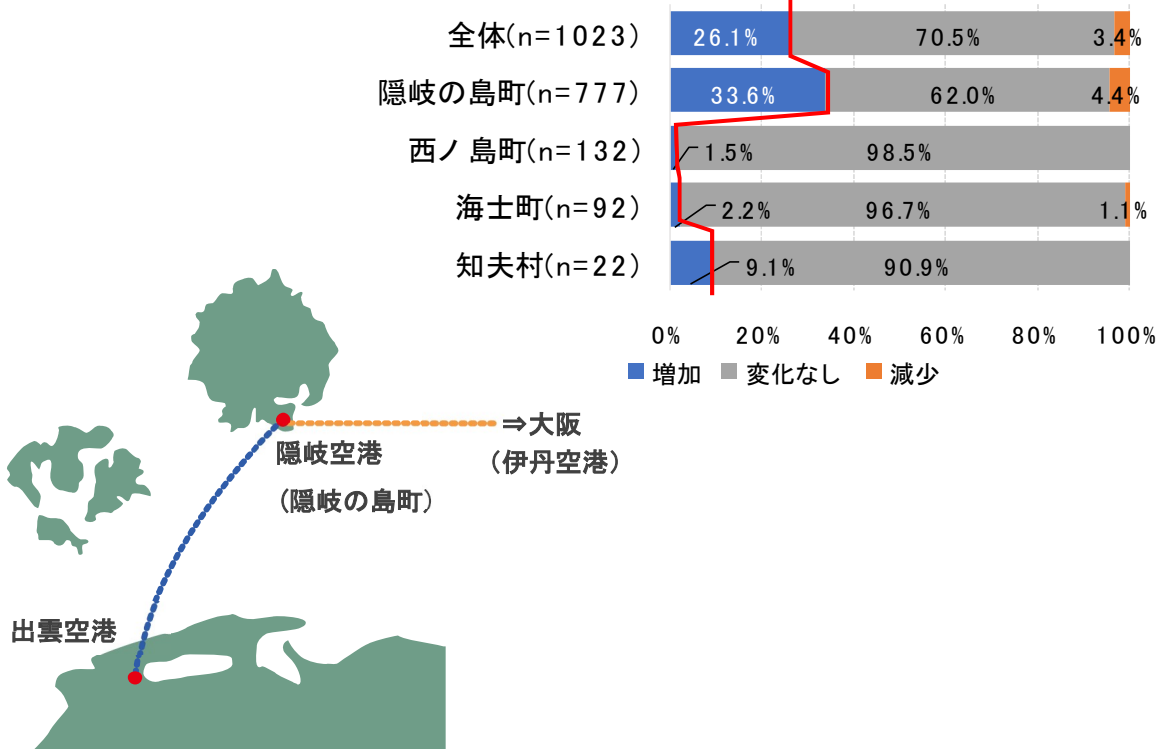
フェリー利用減少15.3%の超高速船利用について



<超高速船> 利用の変化



<航空路> 利用の変化

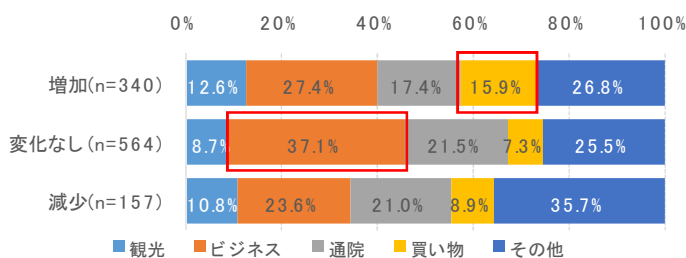


(5) 利用頻度の変化と利用目的

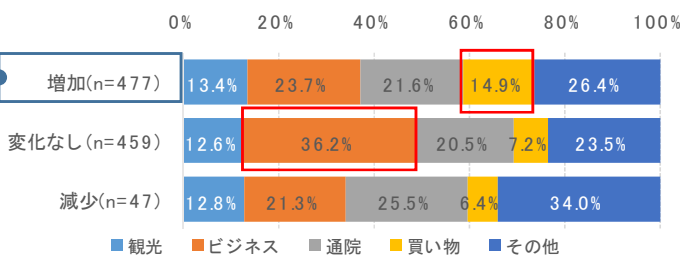
●利用頻度が増加したのは「買い物」、「ビジネス」は変化なく安定した利用がみられる。

●フェリーから超高速船に転換した場合には、「通院」割合が高く 32%となっている。

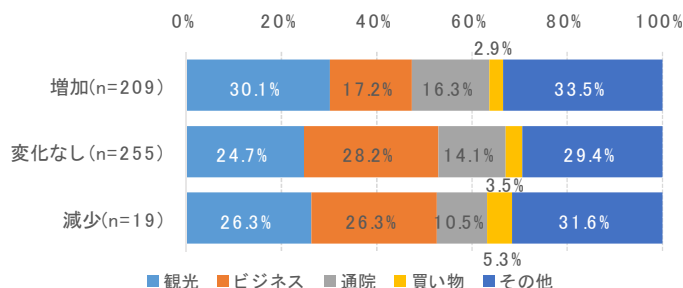
<フェリー> 利用頻度の変化と利用目的



<超高速船> 利用頻度の変化と利用目的

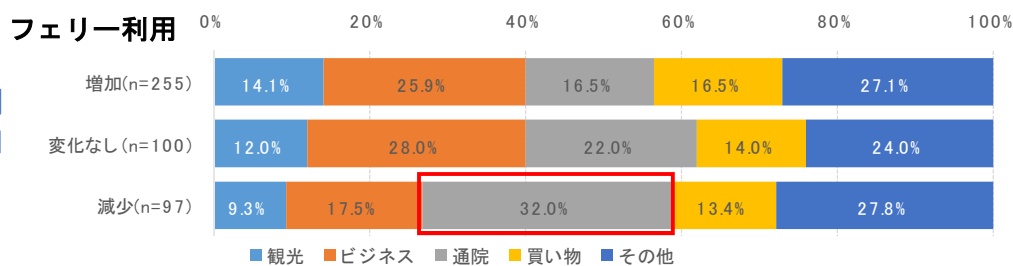


<航空路> 利用頻度の変化と利用目的



フェリーから超高速船への転換

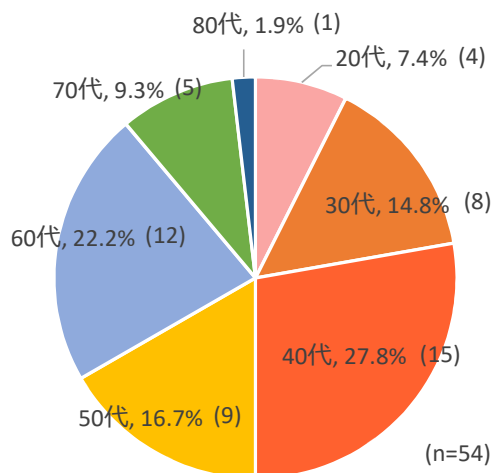
超高速船の利用
「増加 (n=477)」
について



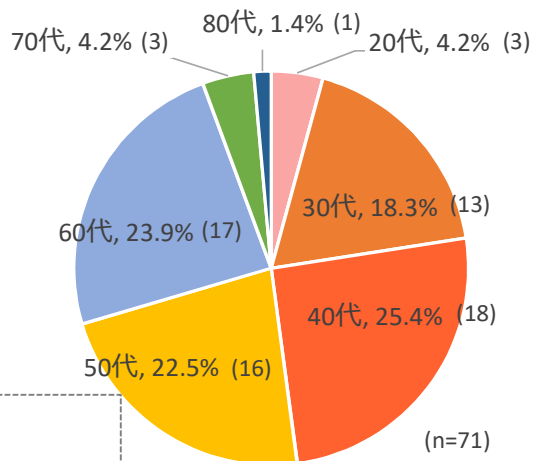
(6) 「買い物」目的で利用頻度が増加した人の傾向

- 利用頻度が増加した「買い物」目的の年代は、フェリー・超高速船共に40代が最も多い。
- 買い物目的でフェリー利用が増加したのは、30代から50代が全体の5割を占める。
- 買い物目的で超高速船利用が増加したのは、30代から50代が全体の6割を占める。

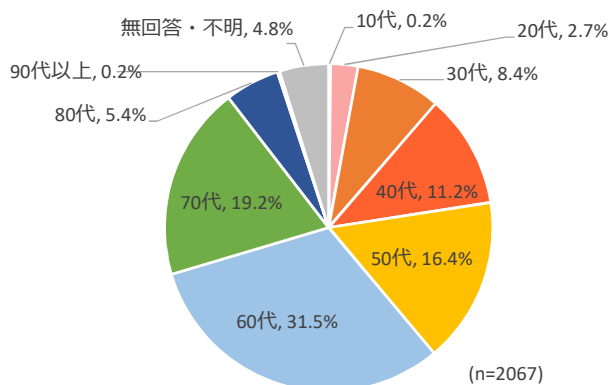
＜買い物目的でのフェリー利用が増加した人（15.9%）の年代内訳＞



＜買い物目的での超高速船利用が増加した人（14.9%）の年代内訳＞



(参考) アンケート回答者の属性



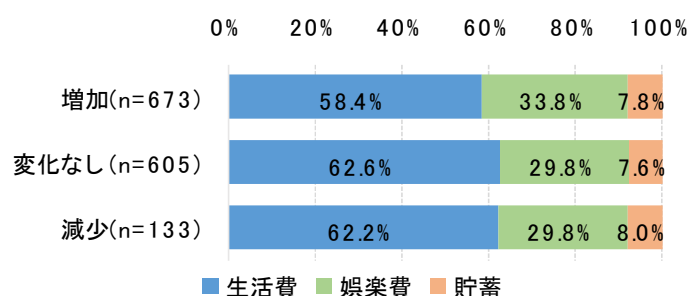
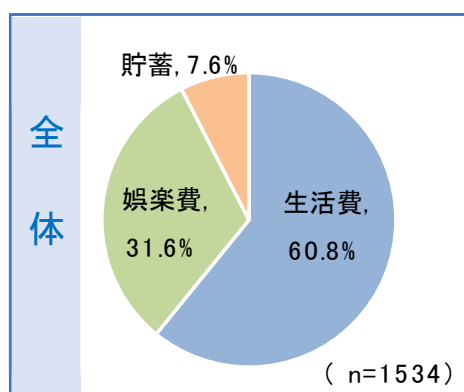
3 島民割引運賃制度（平成 29 年 4 月以降）による家計への影響

<考察>

- 割引運賃制度を受けた経験がある場合、運賃の負担軽減で生まれた余裕は生活費に充てる傾向がみられた。
- 今後も割引が継続された場合、約半数は「買い物」「観光」「交際・娯楽」「通院」で利用が増えるとしている。

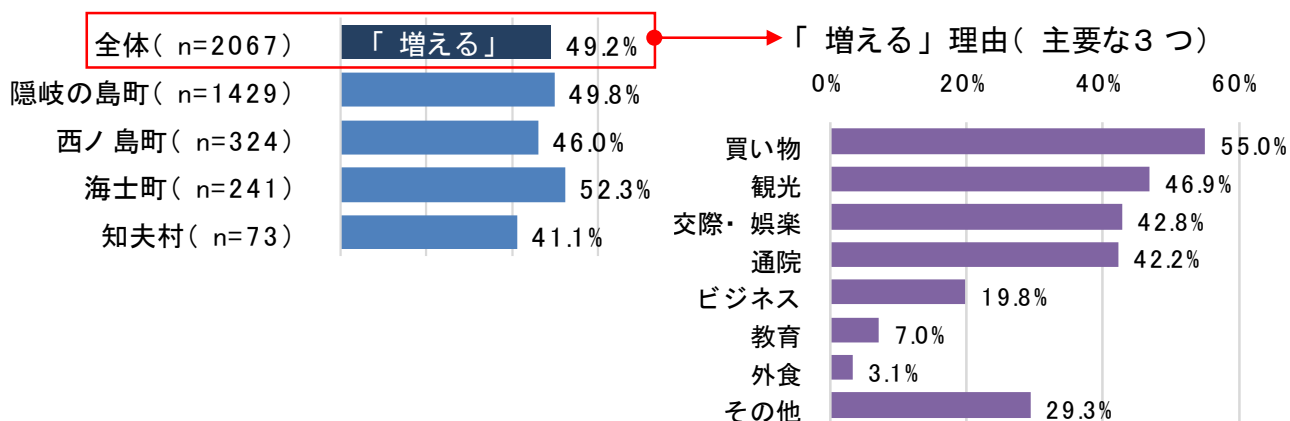
(1) 運賃の負担軽減で生まれた余裕の使いみち

- 運賃の負担軽減で生まれた余裕は、6割を生活費に、3割を娯楽費にまわしている。
- 航路・航空路の利用頻度変化との関係はみられない。



(2) 運賃割引継続による世帯の今後の利用予想

- 割引運賃が継続された場合の今後の利用については、約半数が「利用が増える」と回答し、「買い物」「観光」「交際・娯楽」「通院」を目的としている。

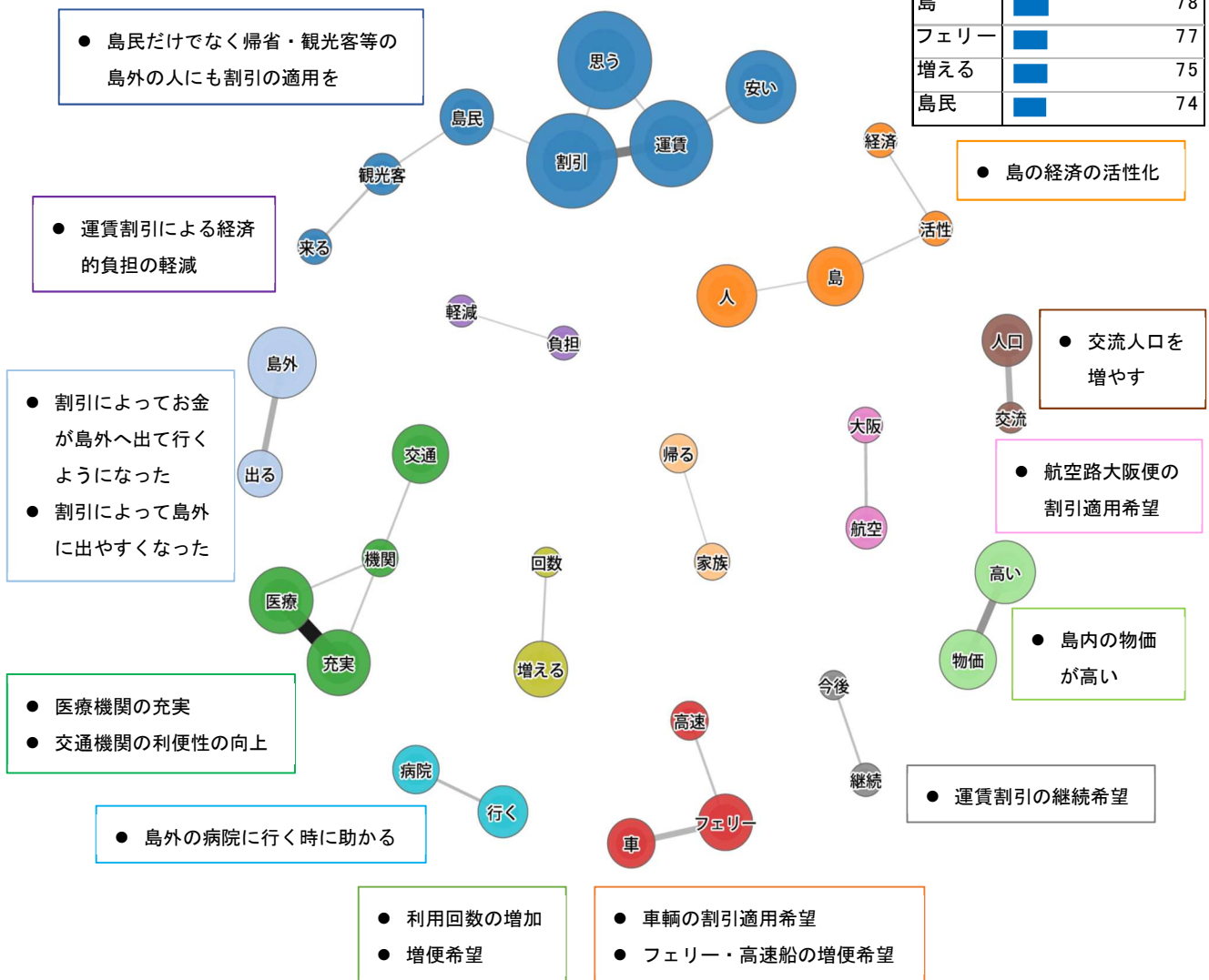


4 自由意見（隠岐地区で生活していく上で必要なこと）

- 経済的負担の軽減のため割引制度の継続を望む声や、対象を島民以外・車輛運送費・大阪便の航空路への拡大の提案、増便による利便性向上を望む声がある。
- 気軽に島外へ行きやすくなったことでお金が島外へ流出し、島の経済にとっては逆効果という意見、観光客など島へ人を呼び、定住促進で人を増やし、島の経済を活性化する必要性を指摘する意見がある。

頻出語	出現回数
思う	234
割引	219
運賃	182
本土	168
安い	128
隠岐	122
島外	122
生活	115
医療	107
充実	105
高い	96
利用	95
人	93
必要	92
物価	85
交通	83
島	78
フェリー	77
増える	75
島民	74

- 語句の頻出度と、頻出する語句どうしが同時に出現する共起関係を図化したものです。
- 頻出する語句ほど円が大きく、語句の結びつきが強いほど円が隣接し、円と円の間隙の線が太く表現されます。



買い物に関する調査結果

～ 世帯の中で「普段、主に買いものをされる方」への調査 ～

1 買いもの先（合計を10とした場合の割合）

<考察>

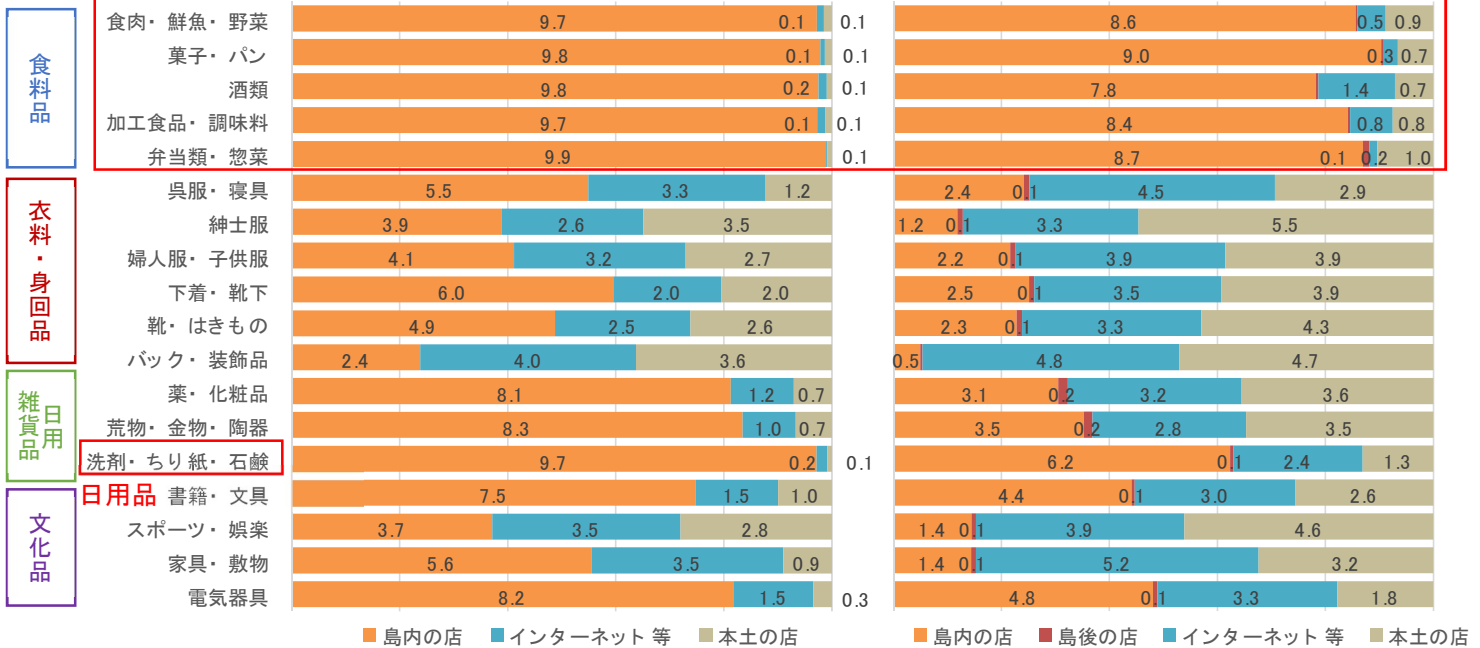
- 食料品や身近な日用品は島内で購入する割合が高いが、衣類やバッグは本土やインターネットでの購入が多く、この傾向は「商勢圏実態調査」でも同様の傾向がみられる。

隠岐の島町

<今回調査結果>

西ノ島町

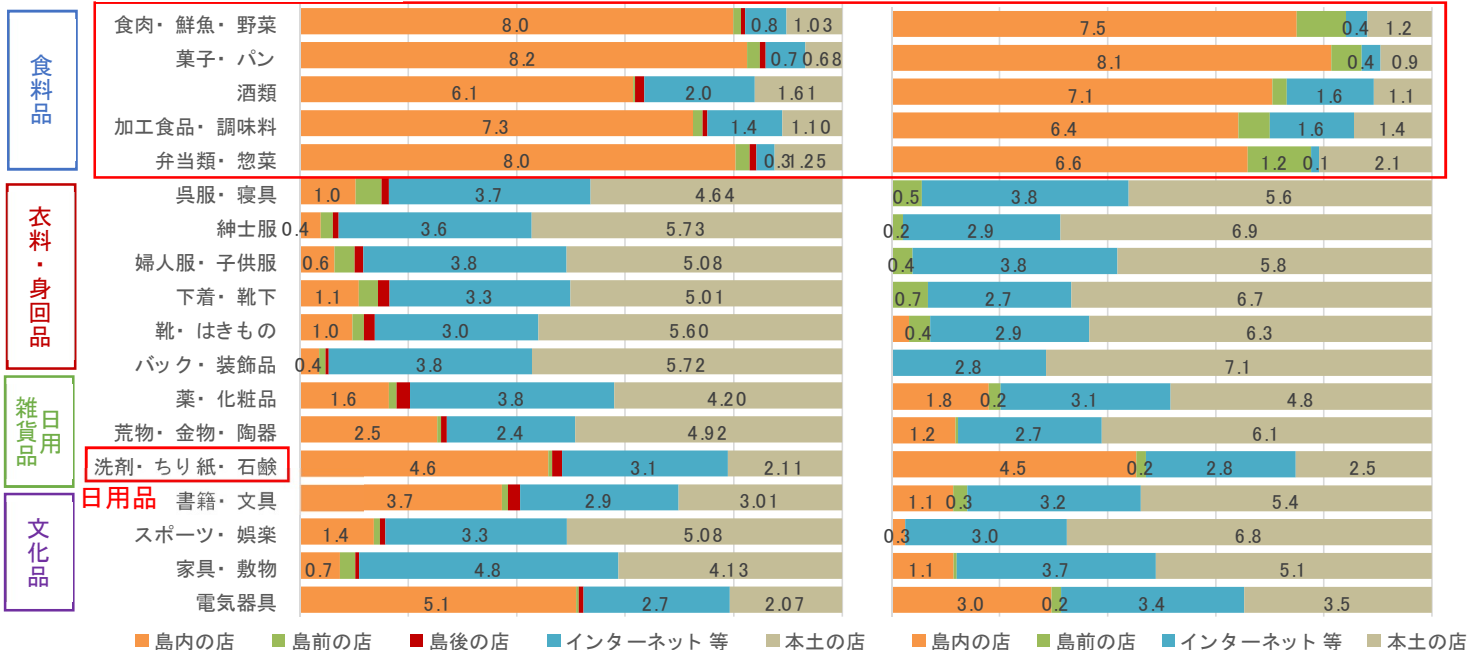
生鮮食品



生鮮食品

海士町

知夫村

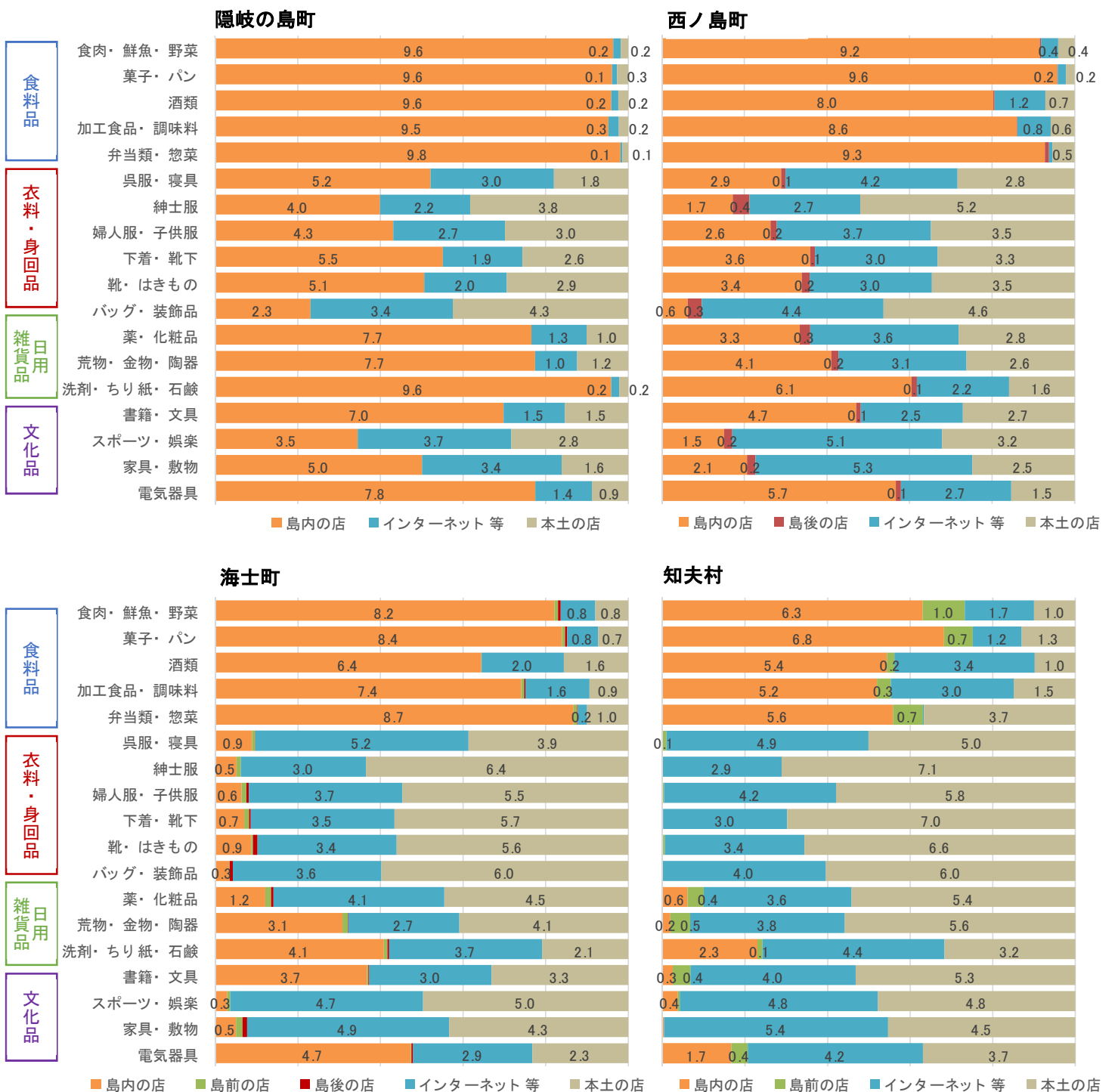




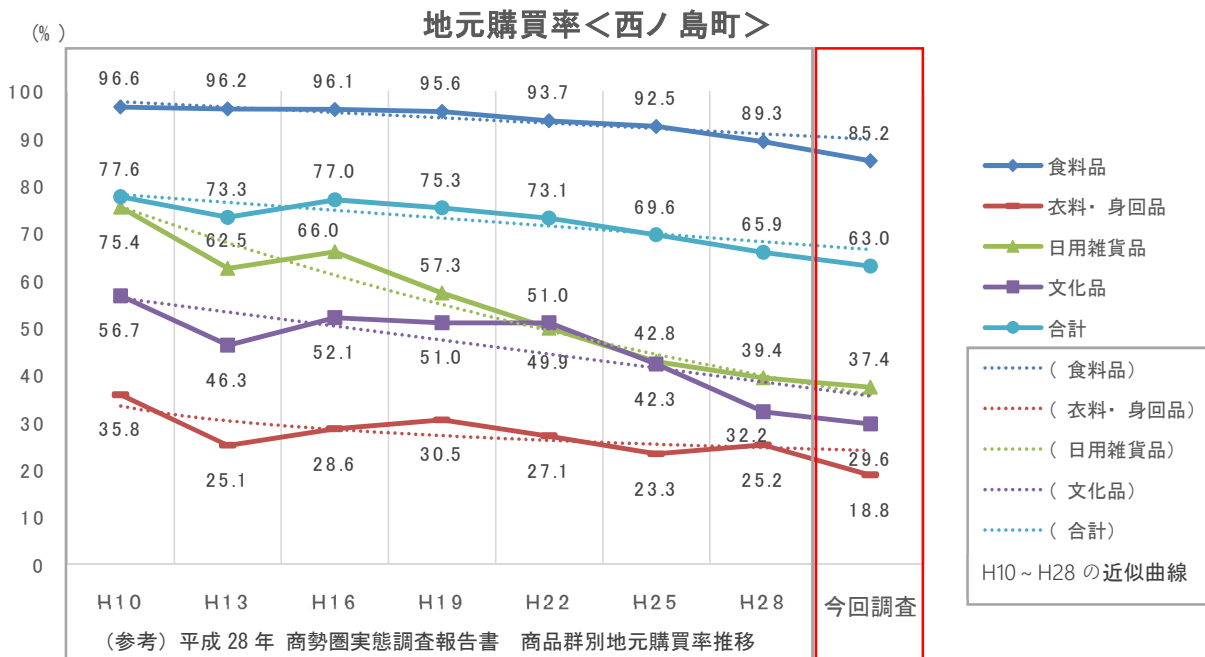
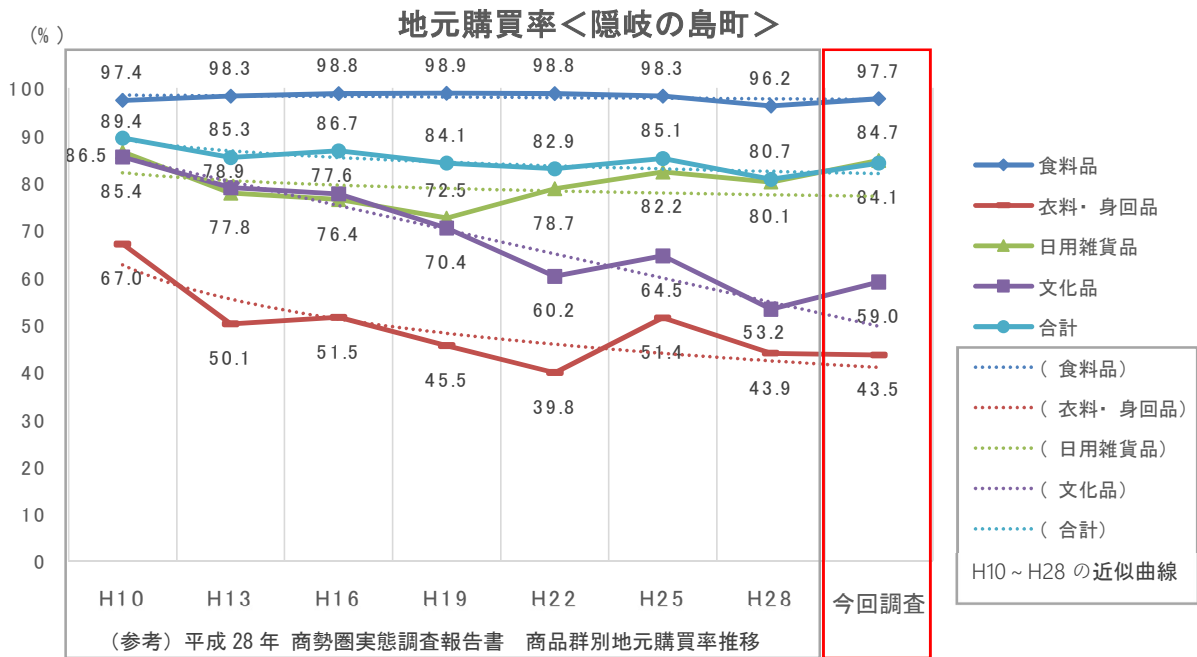
- 地元購買率は、今回の調査結果とこれまでの商勢圏実態調査注の結果と同様の傾向を示しているが、調査対象者の年代構成が異なる知夫村では、地元購買率が高くなっている。注) 島根県商工会連合会が3年毎に県民の消費動向を継続的に把握している調査
- 食品や日用品以外の買いものについては、運賃低廉化の影響で島外消費が進むというより、元々島内購買率が低い傾向がある。特に隠岐の島町以外では食料品でもインターネットや本土での購入がみられる。

⇒ 今後、隠岐地区での物価や流通に関する調査を行い、消費傾向を分析していく。

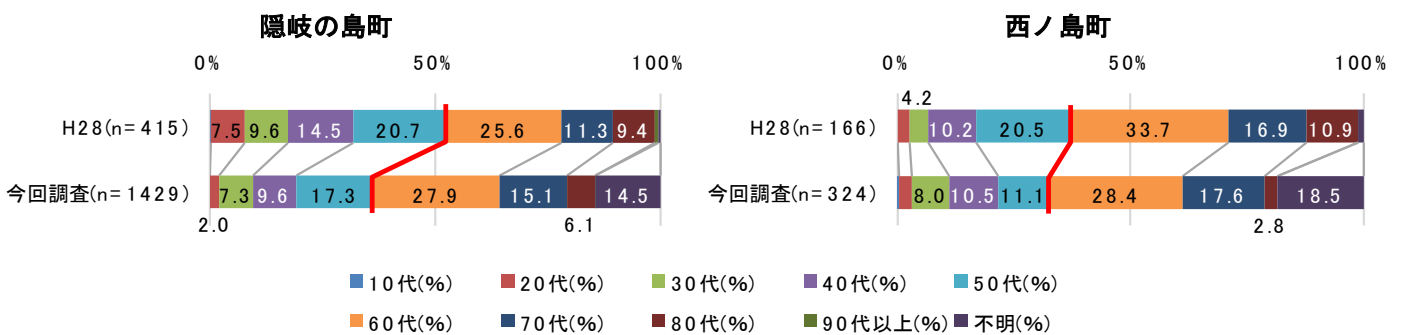
(参考) H28 商勢圏実態調査



「商勢圏実態調査結果」と「アンケート調査結果」からみた地元購買率

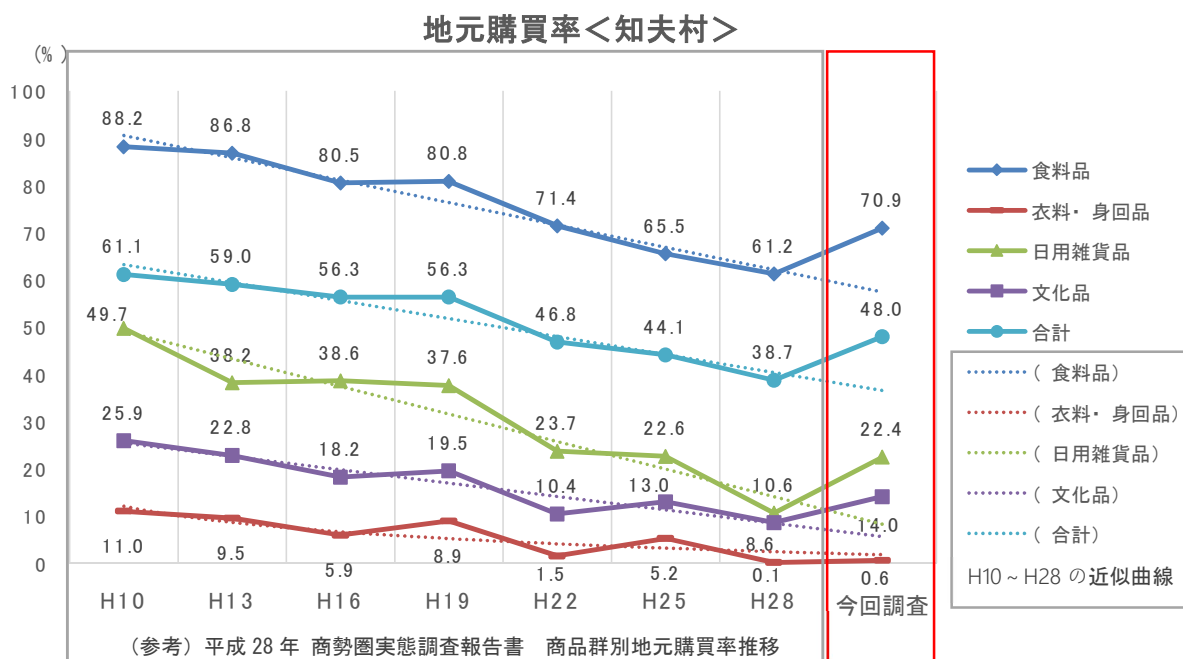
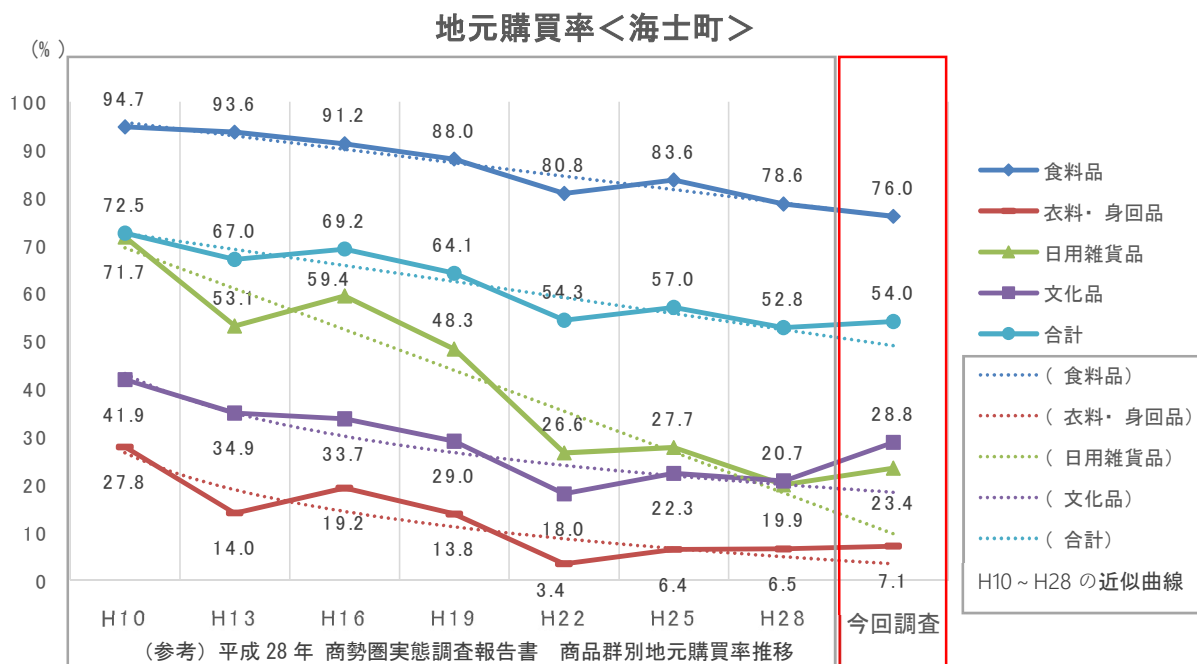


<回答者の属性>

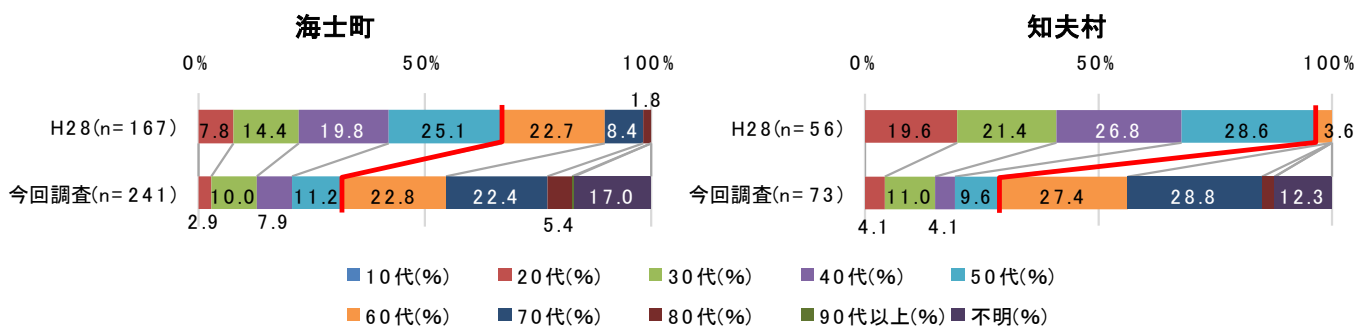


- 商勢圏実態調査 H10～H28 年の近似曲線と今回調査結果を単純に並べると、同じ傾向を示している。

※調査方法の違いにより対象者の年代が異なるため、知夫村では異なる傾向が推測される。



<回答者の属性>



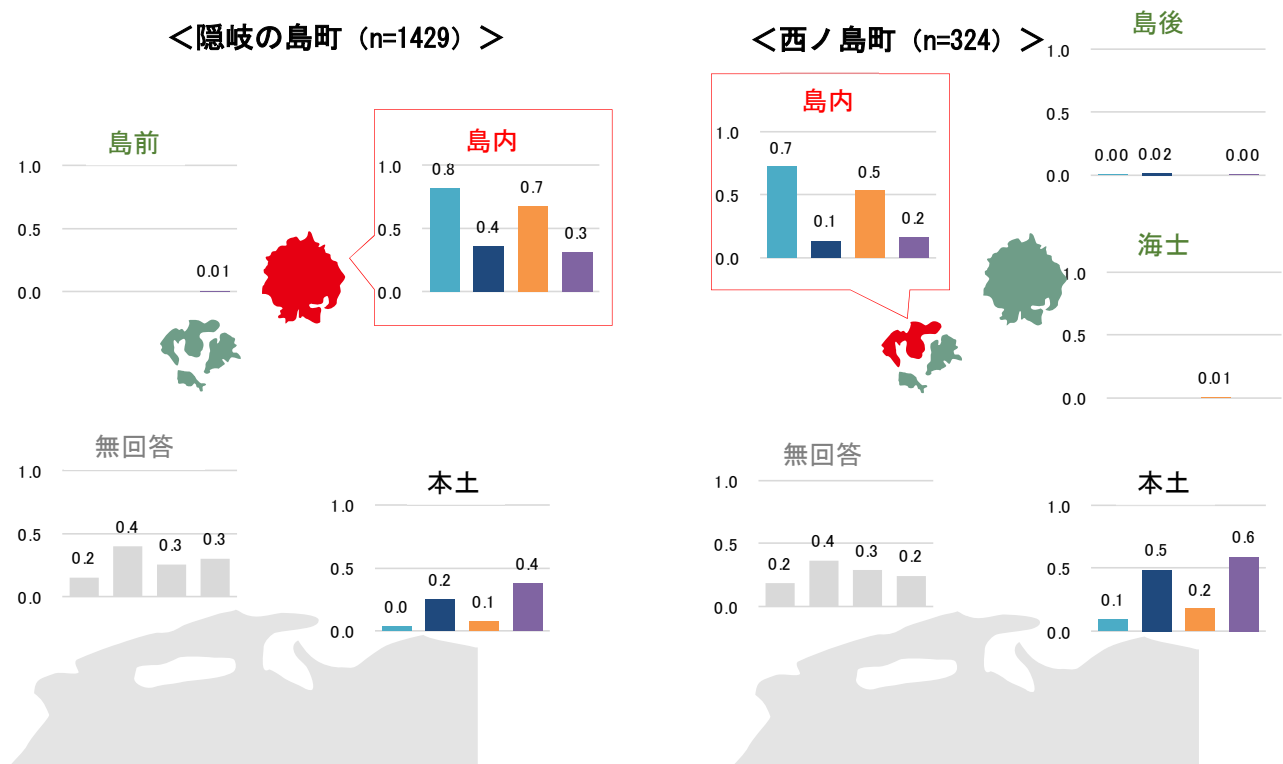
2 日常生活の行き先

- 医療（軽傷）は島内の病院、医療（重症）は隠岐の島町や本土の病院へ行く傾向がみられる。
- 外食は島内でも行い、近隣の島や本土へ出かけた時にも行っている。
- レジャーは本土が多い傾向にある。

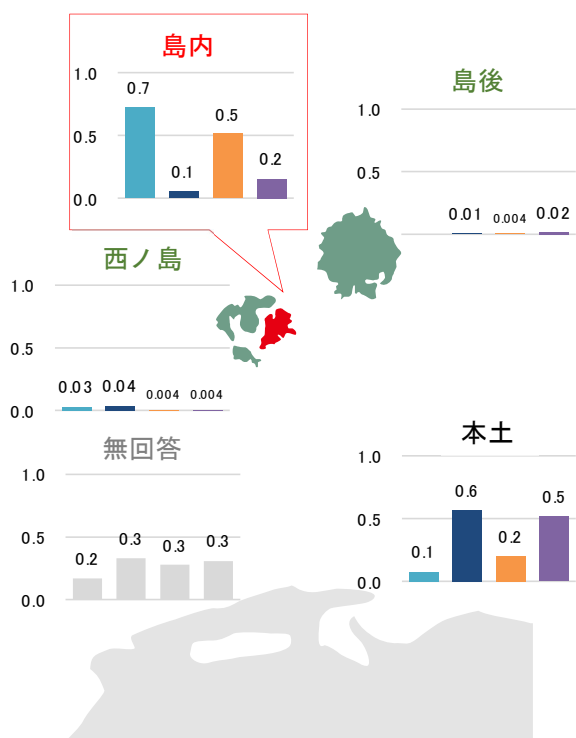
※該当しない場合（例：外食しない、病院へ行かない）は無回答に含まれる

■ 医療（軽傷） ■ 医療（重症） ■ 外食 ■ レジャー

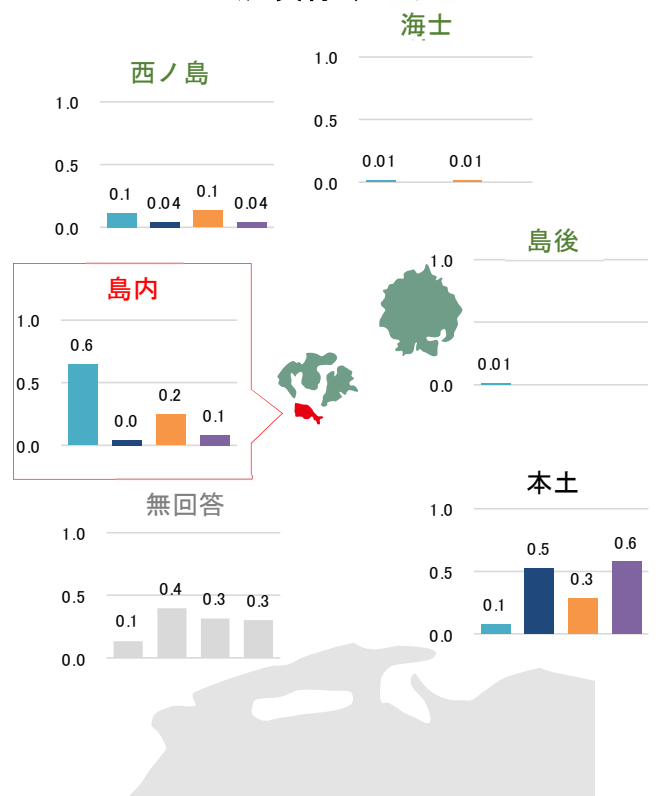
< 隠岐の島町 (n=1429) >



< 海士町 (n=241) >



< 知夫村 (n=73) >

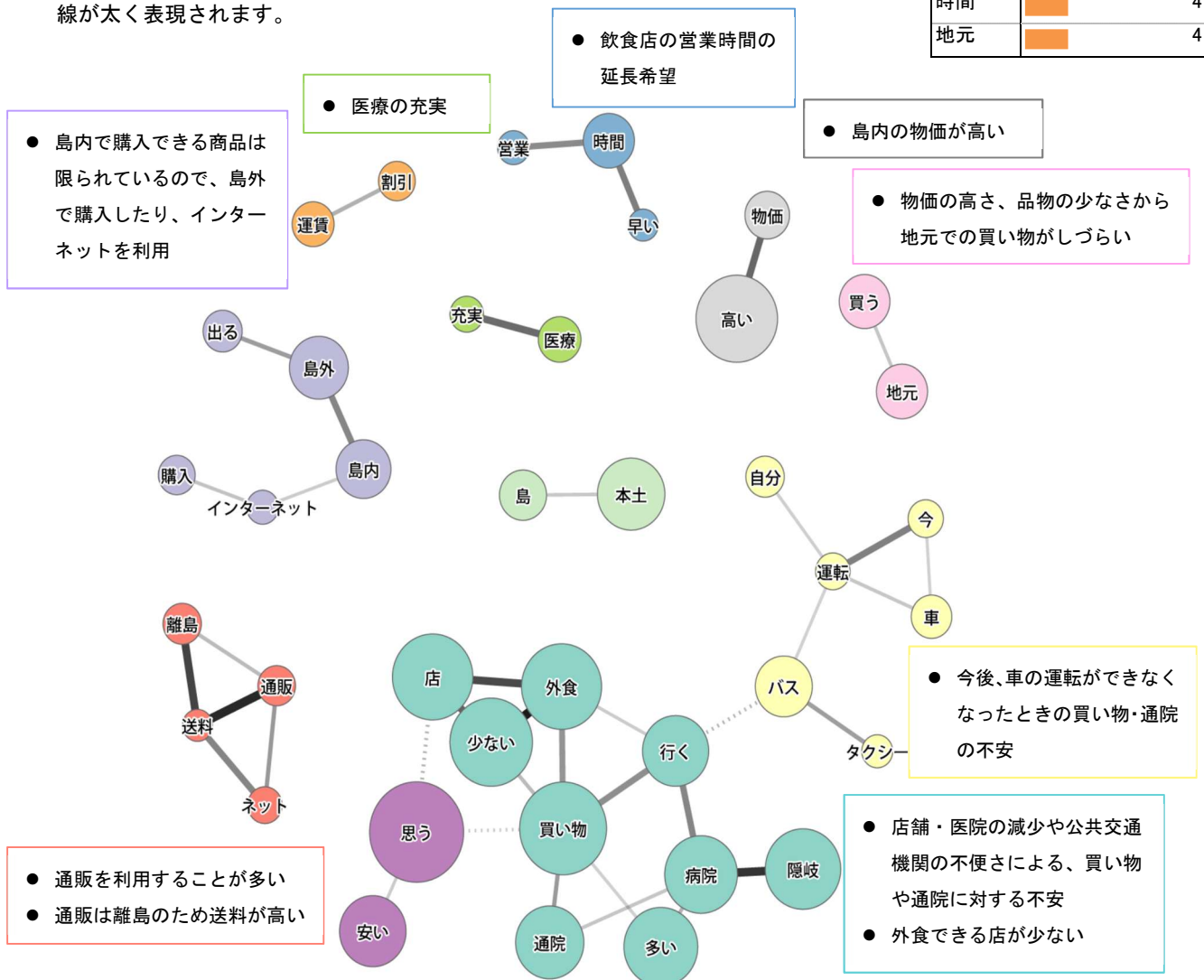


3 自由意見（隠岐地区で生活していく上で必要なこと）

- 買いものは、価格・品質・取扱量・充実度を理由に島外消費が進み、島内経済が発展しないという意見が多い。
- 物価の高さや、品揃えの少なさから地元での買いものがしづらく、島外やインターネットを利用することが多い傾向がうかがえる。
- 地元での消費行動が減少すると商店の維持が難しく、店舗数の減少がすすむことを懸念する声がある。
- 島内の物価は高く、通販では送料が高いとの意見がある。
- 買いものや通院の交通手段についての不安の声、特に、運転ができなくなった時の公共交通での移動に不安を感じている方もある。

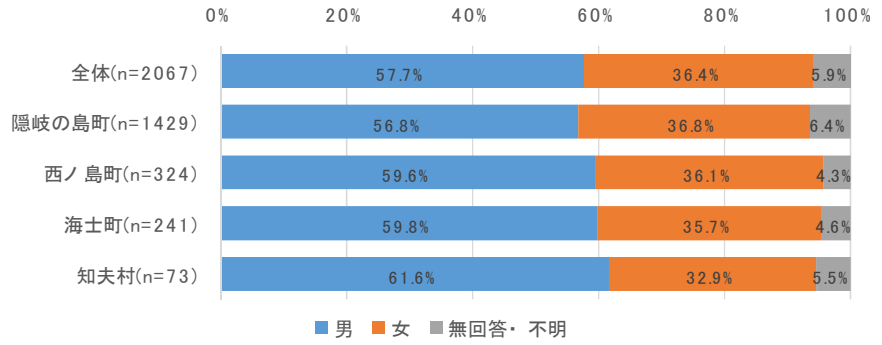
頻出語	出現回数
思う	155
買い物	132
少ない	119
高い	116
店	113
外食	111
多い	94
病院	92
隠岐	86
通院	81
本土	78
安い	77
行く	76
島外	60
バス	56
利用	51
島内	49
人	47
時間	45
地元	45

- 語句の頻出度と、頻出する語句どうしが同時に出現する共起関係を図化したものです。
- 頻出する語句ほど円が大きく、語句の結びつきが強いほど円が隣接し、円と円の間が太く表現されます。

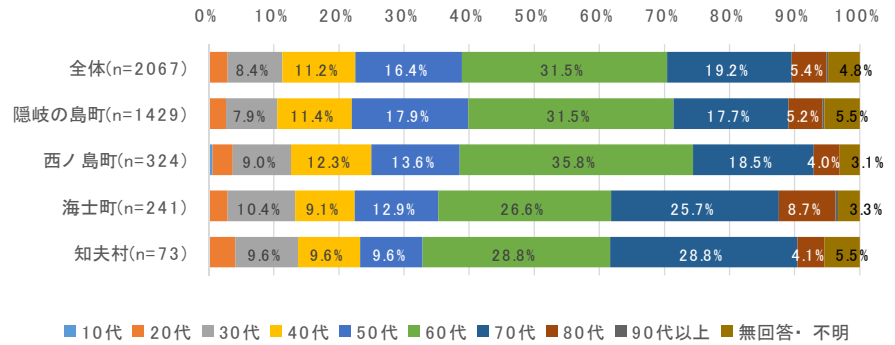


回答者の属性<航路・航空路の割引制度に関する調査>

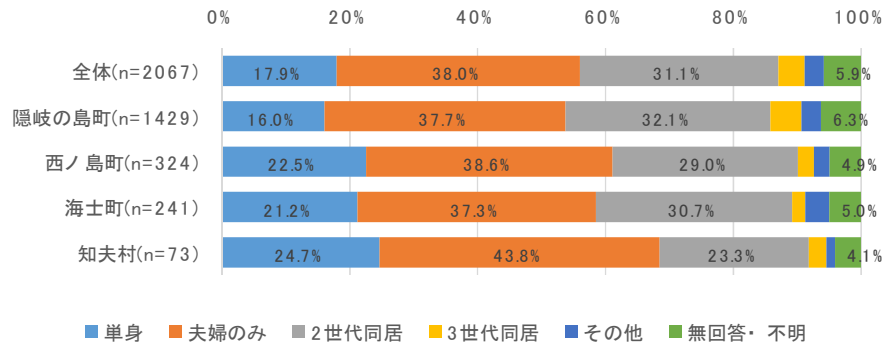
<性別>



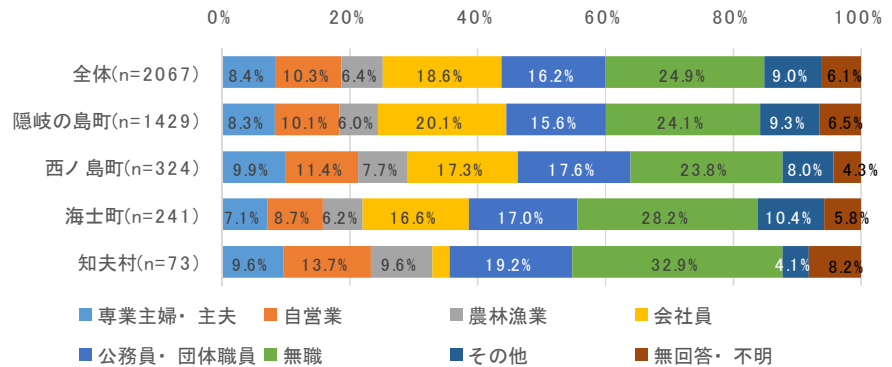
<年代>



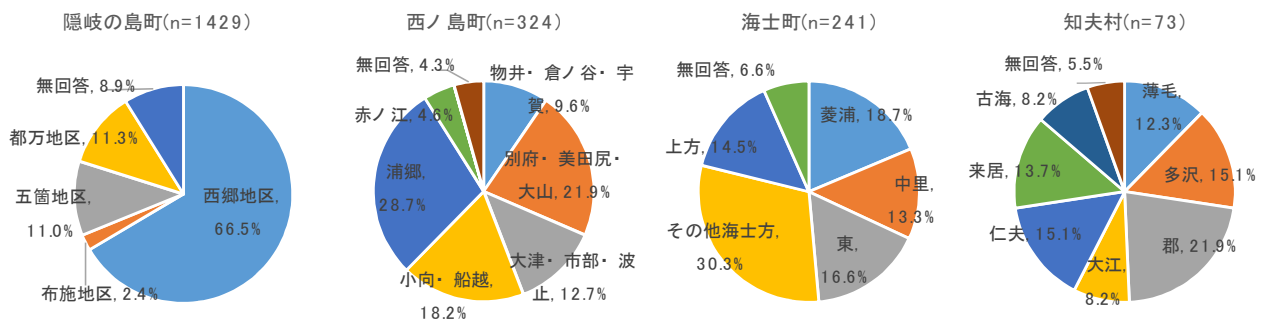
<家族構成>



<職業>

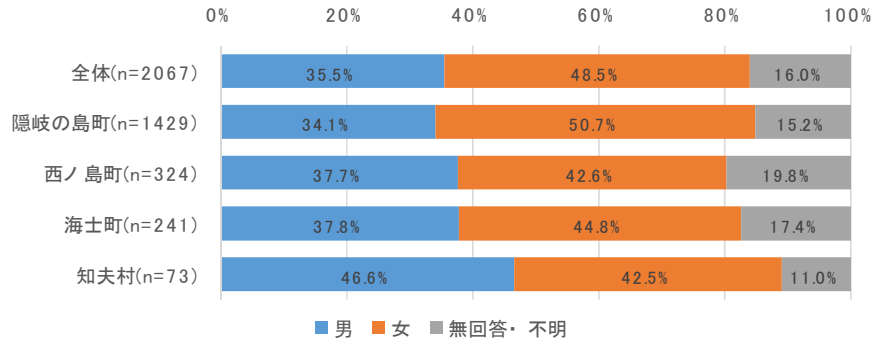


<居住地>

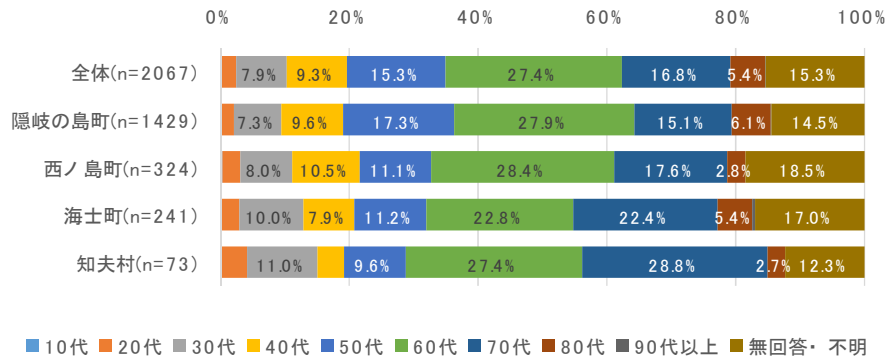


回答者の属性<買い物に関する調査>

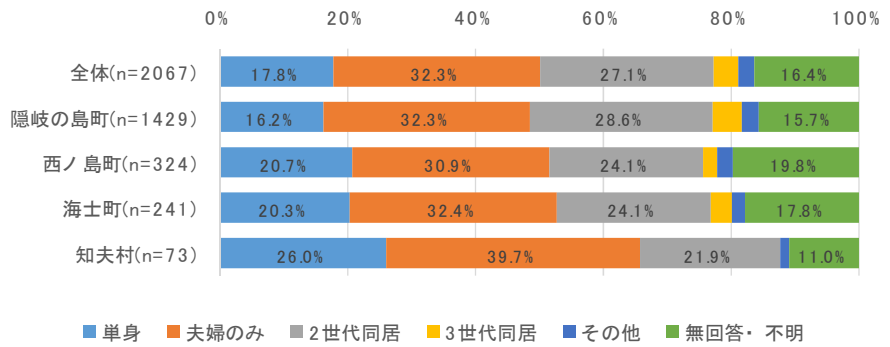
<性別>



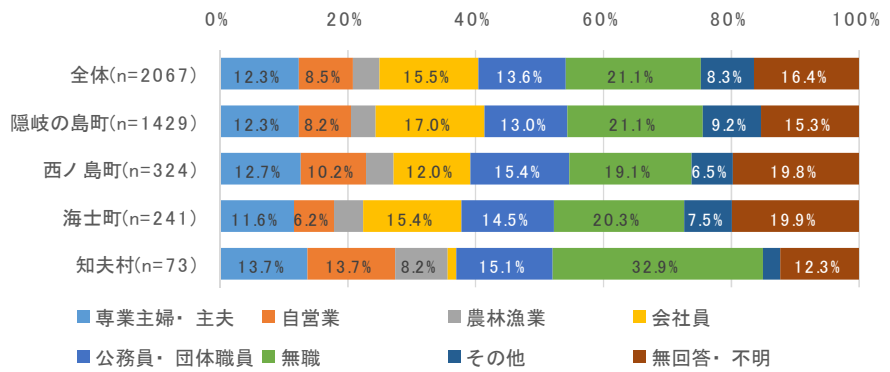
<年代>



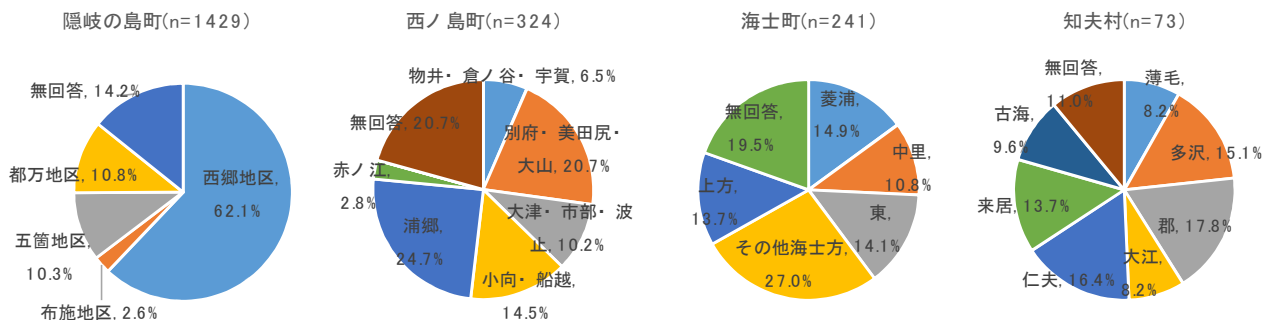
<家族構成>



<職業>



<居住地>



アンケート調査票

航路・航空路の利用状況についてアンケート

ご家族の中で島外に出かけることが多い方が優先してお答えください。

問1 アンケートにご回答いただく方について教えてください。
それぞれの項目について、当てはまるもの 1つに○をつけてください。

性 別	1. 男性	2. 女性			
年 代	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代
	6. 60代	7. 70代	8. 80代	9. 90代以上	
同居家族の構成	1. 単身	2. 夫婦のみ	3. 2世代同居		
	4. 3世代同居	5. その他 ()			
同居家族の人数 ※あなたも含めた人数	1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	
	5. その他 () 人				
職 業 ※パートも含む	1. 専業主婦(夫)	2. 自営業	3. 農林漁業	4. 会社員	
	5. 公務員・団体職員	6. 無職	7. その他 ()		
住 所	1. 西郷地区	2. 布施地区	3. 五箇地区	4. 都万地区	

←町村によって
異なります。

問2 平成29年4月に施行された「有人国境離島法」について知っていますか。
当てはまるもの 1つに○をつけてください。

1. 法律の内容まで知っている 2. 名前は聞いたことはあるが、内容はよく知らない
3. 知らない

問3 「有人国境離島法」によって、平成29年4月から、隠岐-本土間の航路(フェリー、超高速船)・航空路(隠岐空港-出雲空港便)の島民への運賃割引が行われていることを知っていますか。当てはまるもの 1つに○をつけてください。

1. 知っている 2. 運賃割引は知っているが、法律によるものであることは知らない
3. 知らない

問4 航路・航空路の運賃割引制度の満足度とその理由をお聞かせください。
当てはまるもの 1つに○をつけてください。また、下段にその理由をお書きください。

1. 満足している 2. 普通 3. 不満 4. 自分には関係ない

■理由

問5 航路・航空路の運賃割引を受けたことがありますか。
当てはまるもの 1つに○をつけてください。

1. ある 2. ない → (問8へお進み下さい)

裏面もご回答をお願いします

隠岐の島町



問6 運賃割引（平成29年4月以降）を利用することでフェリー・超高速船・飛行機の利用頻度、主な利用目的、目的地に変化はありましたか。

□大体の利用回数を（ ）に記入してください。

		割引以前	割引（平成29年4月）以降
利用頻度	フェリー	年に（ ）回程度	年に（ ）回程度
	超高速船	年に（ ）回程度	年に（ ）回程度
	航空路	年に（ ）回程度	年に（ ）回程度

□利用目的を多い順に選択肢から選び、（ ）に番号を記入してください。

利用目的	フェリー	1位（ ）2位（ ）3位（ ）	1位（ ）2位（ ）3位（ ）
	超高速船	1位（ ）2位（ ）3位（ ）	1位（ ）2位（ ）3位（ ）
	航空路	1位（ ）2位（ ）3位（ ）	1位（ ）2位（ ）3位（ ）
利用目的選択肢		1. 観光 2. ビジネス 3. 通院 4. 買い物 5. その他	

□目的を多い順に選択肢から選び、（ ）に番号を記入してください。

目的地	フェリー	1位（ ）2位（ ）3位（ ）	1位（ ）2位（ ）3位（ ）
	超高速船	1位（ ）2位（ ）3位（ ）	1位（ ）2位（ ）3位（ ）
	航空路	1位（ ）2位（ ）3位（ ）	1位（ ）2位（ ）3位（ ）
目的地選択肢		1. 島前 2. 松江市 3. 出雲市 4. 境港市 5. 米子市 6. 関東地方 7. 関西地方 8. 中部地方 9. 九州地方 10. その他	

←町村によって異なります。

問7 交通費の負担軽減により生まれた余裕をどのように使われましたか。

合計が100%になるよう（ ）に数字を記入してください。

生活費に（ ）%、娯楽費に（ ）%使い、残り（ ）%は貯蓄した。

問8 今後運賃割引が継続されることで、あなたやご家族の航路・航空路の利用はどのようになると思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 増える → 問9へ 2. 変わらない 3. 減る 4. わからない → 問10へ

問9 問8で「1. 増える」とお答えの方、目的は何ですか。

当てはまるもののうち 主要な3つに○をつけてください。

1. ビジネス 2. 観光 3. 買い物 4. 通院 5. 教育 6. 外食 7. 交際・娯楽 8. その他

問10 離島地域で今後も継続して生活を行っていくにあたって、必要なことは何だと思えますか。ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

（空欄）

ご協力ありがとうございました。

買い物や医療・レジャーなどの生活状況についてアンケート

ご家族の中で普段、主に買い物をされる方が優先してお答えください。

問1 アンケートにご回答いただく方について教えてください。
 それぞれの項目について、当てはまるもの1つに○をつけてください。
 また、同封した青色用紙の「航路・航空路の利用状況についてのアンケート」と
 同じ方がご回答される場合、問2にお進みください。

同封アンケートの 回答	1. 回答していない	2. 回答した → 問2へ
----------------	------------	---------------

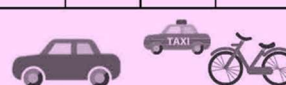
性 別	1. 男性	2. 女性							
年 代	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代	7. 70代	8. 80代	9. 90代以上
同居家族の構成	1. 単身	2. 夫婦のみ	3. 2世代同居	4. 3世代同居	5. その他 (_____)				
同居家族の人数 ※あなたも含めた人数	1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. その他 (_____) 人				
職 業 ※パートも含む	1. 専業主婦(夫)	2. 自営業	3. 農林漁業	4. 会社員	5. 公務員・団体職員	6. 無職	7. その他 (_____)		
住 所	1. 西郷地区	2. 布施地区	3. 五箇地区	4. 都万地区					

← 町村によって
異なります。

問2 あなたやご家族の日常生活において、以下の行動を行う際の行き先として、
 昨年(平成29年4月~平成30年3月) いちばんよく行った地域はどちらですか。
 行動別に、当てはまる地域1つに○をつけてください。

行動 \ 行き先	西郷地区	布施地区	五箇地区	都万地区	島前地区	松江市	米子市	境港市	出雲市	その他市町村
通 勤 (主に生計を立てている方)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
医療機関への受診 (かぜ等の軽傷)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
医療機関への受診 (入院・手術等の重傷)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外 食	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
レジャー・娯楽	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

← 町村によって
異なります。



裏面もご回答をお願いします

隠岐の島町

問3 昨年（平成29年4月～平成30年3月）、あなたのお宅では、次の商品をどこで購入されましたか。商品ごとの買い物場所について、例を参考にご記入ください。

買い物をした大体の購入金額の割合をもとにして、商品ごとに横の合計が10となるようにご記入ください。

		サテラス	ショッピングセンターひまり	ウエルネス隠岐の島店	ヤマタ電機ツクランド隠岐店	エディオン隠岐店	ジュンテンドー	その他西郷地区	中地区	布施地区	五箇地区	都万地区	インターネット通販	カタログ通販	島外からの行商	松江市	境港市	米子市	出雲市	その他の県内	関西方面	その他の県外	合計
例	食肉・鮮魚・野菜	2	3								2		3										10
	食肉・鮮魚・野菜																						10
食料品	菓子・パン																						10
	酒類																						10
	加工食品・調味料																						10
	弁当類・総菜																						10
	呉服・寝具																						10
衣料品・身用品	紳士服																						10
	婦人服・子供服																						10
	下着・くつした																						10
	靴・はきもの																						10
	バッグ・装飾品																						10
日用雑貨品	薬・化粧品																						10
	荒物・金物・陶器																						10
	洗剤・ちり紙・石鹸																						10
文芸品	書籍・文具																						10
	スポーツ・娯楽																						10
	家具・敷物																						10
	電気器具																						10

←町村によって異なります。

問4 通院、外食、買い物等の日常生活について望むこと・ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。



ご協力ありがとうございました。

調 査 名 有人国境離島地域における施策の効果等実態調査
航路・航空路の割引制度と買い物に関するアンケート調査報告書

調 査 期 間 平成30年6月～7月

発 行 島根県地域振興部しまね暮らし推進課
電話 (0852) 22-6453